

第 66 号



2019 年度 秋号

土木技術者女性の会 とは

＜団体名＞

一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers

＜会の生い立ち＞

土木学会誌(1982 年 9 月号)紙上で企画された「女性土木技術者の座談会」がきっかけで 1983 年 1 月に発足しました。座談会の席上で、「日本各地で孤軍奮闘している女性の土木技術者が情報交換できるような会を…」ということになり、同誌紙上で呼びかけ、約 30 名でスタートしました。

創立以来、任意団体として活動してまいりましたが、2013 年 11 月 18 日(土木の日)に一般社団法人土木技術者女性の会として新たに発足しました。

＜会の目的＞

土木学会誌の座談会をきっかけにしていますが、女性土木技術者特有の問題をきめ細かく取り上げ対応していくために、独立した団体として活動しています。

女性技術者の質の向上と活動しやすい環境作りのために、次のような目的を掲げています。

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
2. 土木界で働く女性技術者の知識向上
3. 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上
5. 土木技術者を目指す女性へのアドバイス

＜倫理規定＞

当会では次のような倫理規定を定めています。

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規定を遵守するものとする。

1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする
2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する
3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない

＜会誌「輪(りん)」について＞

1983 年に開催された第 1 回総会にて、会誌の名前についても話し合いが行われています。

「輪」の文字は、「友達の輪」という発想より早々に決まりました。

そして、「りん」という言葉の響きの心地よさと会員同士のつながりを大事にしたい
という思いを込めて名付けられました。

(1983 年 第一回総会議事録・参加者証言抜粋)

目 次



01 巻頭言：佐藤亜紀子 ～事務局に携わる中で～

02 特集 1★一般社団法人 土木技術者女性の会 第 7 回総会 開催報告

03 | 一般社団法人 土木技術者女性の会 第 7 回 総会報告

05 | 現場見学会

07 | キャリアセミナー

08 | 意見交換会

13 | 総会・関連行事 参加者アンケート結果

22 | 参加者の感想

高松寛子/玉城恵理/仁多見加奈子/服部典子/八木祥子/柳瀬香織/四元聡子/

高木美香/山田真衣/久保朱里/比嘉常美代

32 ちょっと一息：～私の好きな風景や場面～

33 一般社団法人 土木技術者女性の会 組織図 2019

34 新任運営委員の紹介

会計担当 齋藤由紀子/経理チームリーダー 栗田有紀子/

情報システムチームリーダー 村上正恵

36 お知らせ ～定款が改定されました～

40 ホトケの文書講座 一其の壱一

35 | メディア掲載

35 | サポーターおよび新規会員募集

35 | 寄附制度のご案内

編集後記

41 特集 2★“見える化”土木技術者女性の会 第 5 弾:「中部支部リコチャレ開催」

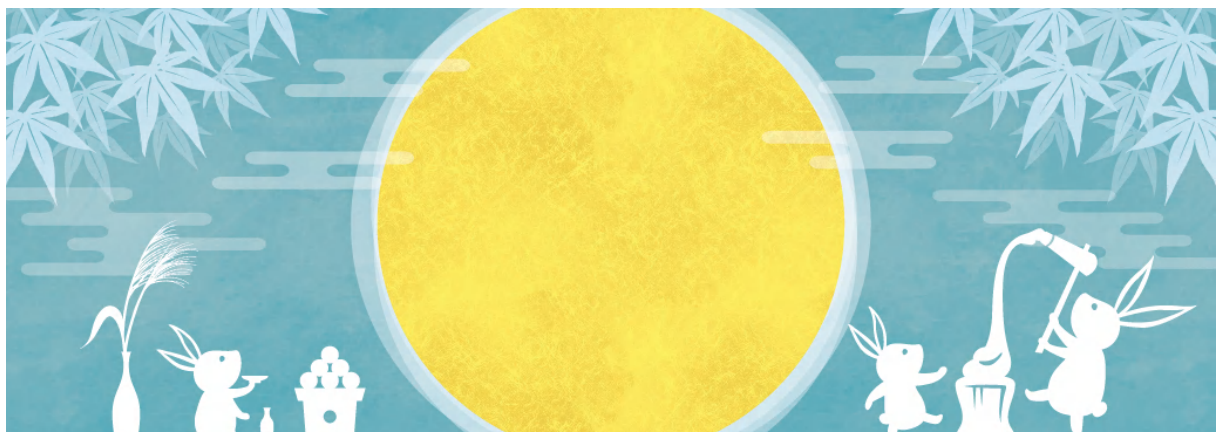
41 | 「土木女子(ドボジョ)といっしょに防災について考えよう」が開催されるまで

46 | イベント報告(中部支部)★リコチャレ 2019

「土木女子(ドボジョ)といっしょに防災について考えよう」

49 イベント報告(東日本支部東北地区)★

「NEXCO 東日本 女性技術者による現場見学交流会および意見交換会」



事務局に携わる中で

事務局長 佐藤亜紀子



こんにちは。昨年度より事務局長を務めております、佐藤です。私と事務局との出会いは20年以上前のことになります。それは、以前の勤務先で上司が事務局長になったことから始まりました。それ以降、長年、会員管理や会費請求を担当していました。そんなご縁から、事務局長をお受けすることになりました。引き続きよろしくお願い致します。

事務局は、入会時より会員、サポーターの皆さんと接する部署ですが、これまで、活動内容や担当業務についてお知らせする機会はなかなかありませんでした。今回、この場をお借りして事務局を紹介したいと思います。

事務局では、会員の入退会に係る会員管理、運営委員会の開催・議事録の作成、総会資料・議事録の作成、リーフレットや各種印刷物の管理・発送、土木学会 CPD プログラムの申請・登録、その他企画広報局と連携し、会の PR や各種問い合わせへの対応を行っています。

更に、会費請求・収受、寄附収受、銀行口座管理、会の決算等を担当する《経理チーム》と、ウェブシステムの更新、メーリングリスト等のメールシステム運用、資料を保管・共有するファイルシステムの運用、会員管理システムの更新検討を担当する《情報システムチーム》の2チームを設置して、総勢15名のメンバーで会の運営を支える活動をしています。

もちろんのことですが、メンバーの皆さんは、それぞれご自身の仕事を抱えています。その中で、時間をやり繰りしながら、担当業務に携わっていただいていることには、ただただ頭の下がる思いです。事務局の専従職員を持たない当会では、メンバー皆さんの不断の努力が、滞りなく会の活動を続けることができる「力」となっていると言えます。

事務局に携わることで、メンバー間だけでなく、運営委員、会員とやり取りをする機会が多くなります。決まったマニュアルどおりの対応以外に、臨機応変に対応する案件も出てきます。これらの対応は、所属する会社の中では経験しないこともあり、その積み重ねによる学びも多くあると感じています。私自身、事務局を通じて多くの会員と接する機会に恵まれました。幾度となく失敗もしました。その度に周りの先輩やメンバーからエールと学ぶ機会をいただきました。そこで学んだことは、貴重な財産として、今も役立っています。そして、その学びは続いています。

さて、話は変わりますが、先日、東日本支部のリコチャレ「ドボジョと土木現場体験！」に、娘(小4)と同じクラスのお友達とお母さまをお誘いして参加しました。土木には全く縁のないお母さまでしたが、見学の途中、「働いている皆さん、キラキラして素敵ですね。きっと、仕事に誇りをお持ちなんですね。」とおっしゃり、初めて見る大きな現場に感動していました。土木が身近に感じてもらえるきっかけになるといいのですが...



現場見学会の小4女子ふたり

特集 1★

一般社団法人 土木技術者女性の会 第 7 回総会 開催報告

担当: 東日本支部

日にち: 2019 年 6 月 14 日(金)・15 日(土)

2019.06.15 09:00-13:10

一般社団法人 土木技術者女性の会 第 7 回総会

JR 東日本コンサルタンツ(株) 会議室 …p.3

2019.06.14 13:30-15:30

現場見学会

「JR 渋谷駅改良工事」

JR 東日本東京工事事務所 渋谷プロジェクトセンター …p.5

2019.06.14 16:00-17:30

キャリアセミナー

・基調講演: 天野玲子氏 「土木から防災へ」

・グループディスカッション

東急建設(株) 会議室 …p.7

2019.06.14 18:30-20:30

意見交換会 GREEN GRILL 渋谷店 …p.8

総会・関連行事 参加者アンケート結果 …p.13

参加者の感想 …p.22



一般社団法人 土木技術者女性の会 第7回 総会報告

日時:2019年6月15日(土) 9:00 - 13:10 場所: JR 東日本コンサルタンツ(株) 会議室

参加者:71名 委任状提出者:224名 計295名 (議決権のある会員数327名)

一般社団法人となってから、7回目の総会が、東日本支部の担当により、東京・大崎で開催されました。当日は強い雨の降るあいにくの荒天でしたが、70名を越える大勢の会員が集まり、活気溢れる総会となりました。

はじめに渡辺弘子会長より、「東京での開催は30周年記念事業を行った2012年度以来である。東日本大震災の翌年であり、『いのちと豊かさを守る土木へ』というテーマでのパネルディスカッションに続き、『どぼく未来宣言』を採択した」「昨日の総会イベントでは天野玲子さんから『土木から防災へ』と



【総会の様子】

いうタイトルでご講演いただき、土木技術者の原点に立ち戻る気持ちだった」「今年の総会議案の1つに定款の改定があり、会のこれからを決める大切な場であるので真摯に議論したい」「今回初めて参加する会員も多く、交流の好機としてほしい」との挨拶がありました。

【会長挨拶】
その後に出選された議長からの総会成立の宣言に続き、本総会では、出席会員の議決権の過半数で成立する普通決議に加えて、全正会員議決数の2/3以上で成立する特別決議がある旨の説明があったのち、議案審議に入りました。

まず、牛山副会長、水野副会長等が2018年度事業報告・決算報告について説明し、承認されました。その後、渡辺会長が特別決議である定款の改定について説明しました。定款改定案では、理事会の設置や総会決議事項の変更等の重要な事項が含まれています。約2時間にわたる活発な質疑がなされ、一部内容を修正して承認されました。その後、理事会の設置および監事の選任を行いました。また、2019年度事業計画・予算計画等について、牛山副会長、水野副会長等が説明し、承認され、予定終了時間の12時を1時間強超えて閉会となりました。

新設される理事会は、現在の理事、代表理事をメンバーとし、西日本支部 三好葉子氏、北海道支部 佐藤厚子氏が監事として参加します。

なお、今回、大きな会議室を会場として確保できたことから、その一角をパーティーで区切り、ベビーシッターによる保育を行い、3名のお子様をお預かりしました。また、1名のゼロ歳児が抱っこ紐で参加となりました。総会と同じ空間での保育実施について心配もありましたが、参加者のご理解・ご支援もあり、無事保育サービスを提供することができました。



【会長挨拶】



【会場の一角での保育の様子】



議事次第

開会

I はじめに

- 1 会長挨拶(渡辺弘子)
- 2 議長選出
- 3 総会成立の宣言

II 議案審議

- 第 1 号議案 2018 年度 事業報告(牛山副会長、水野副会長から説明)
- 第 2 号議案 2018 年度 決算報告(齋藤会計から説明)
- 第 3 号議案 定款の変更(案)について(渡辺会長から説明)
- 第 4 号議案 規則等整備ワーキンググループの設置について(渡辺会長から説明)
- 第 5 号議案 理事会の設置および監事の選任(案)について(渡辺会長から説明)
- 第 6 号議案 運営委員の選任(案)について(渡辺会長から説明)
- 第 7 号議案 2019 年度 事業計画(案)(渡辺会長、牛山副会長、水野副会長から説明)
- 第 8 号議案 2019 年度 予算計画(案)(齋藤会計から説明)

※当初予定していた第 9、10 号議案については、渡辺会長より議案としないことが提案され承認されました

次回・次々回の担当支部確認

次回の総会(2020 年度)は北海道支部、次々回の総会(2021 年度)は中部支部が担当することが確認されました。

閉会

総会の議事録は、当会ウェブサイト<会員ページ>に掲載しています。

報告:小林千佳(東日本支部)

現場見学会「JR渋谷駅改良工事」

日時:2019年6月14日(金) 13:30 - 15:30

場所:JR 東日本 東京工事事務所 渋谷プロジェクトセンター

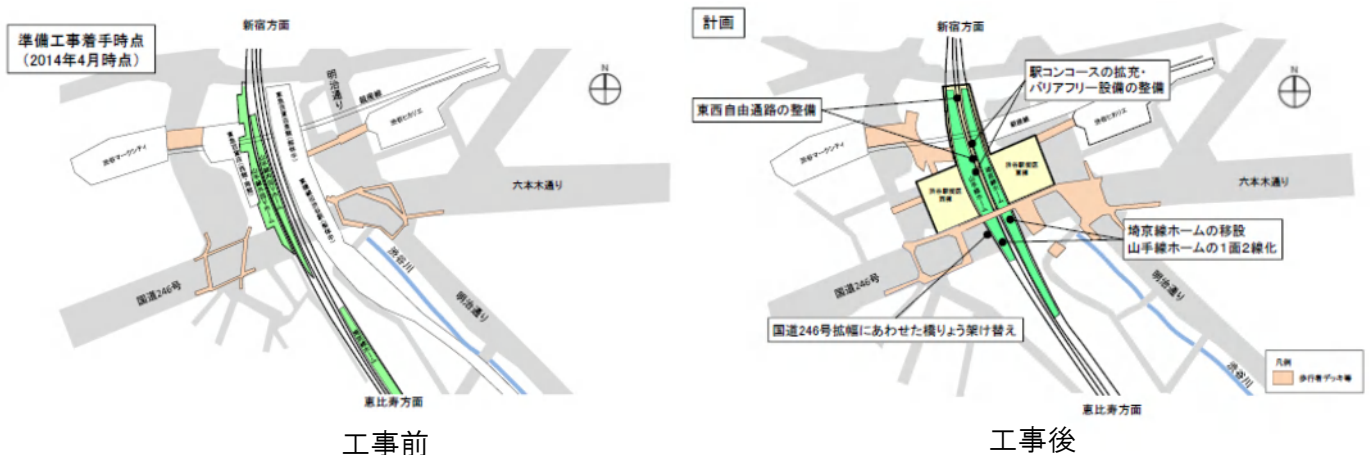
参加者:43名

1. スケジュール

- 13:00 集合(JR東日本 東京工事事務所 渋谷プロジェクトセンター)
- 13:30 開会の挨拶(東日本支部 小林支部長)
- 13:35 工事概要説明(JR 東日本 東京工事事務所 渋谷プロジェクトセンター 藤澤担当課長)
- 14:00 2班に分かれて移動
- 14:10 現場見学
- 15:05 質疑応答(JR 東日本 東京工事事務所 渋谷プロジェクトセンター
大野担当課長、藤澤担当課長、芳山さん、監物さん)
- 15:25 閉会の挨拶(東日本支部 小林支部長)

2. JR 渋谷駅改良工事概要

渋谷駅周辺地域においては、災害に強く、めぐり歩いて楽しい国際的な観光文化都市「渋谷」の実現を目的に、交通結節点機能の強化を図り、渋谷駅の機能更新と再編、駅ビルの再開発と一体的な都市基盤の整備を行うことにしています。JR渋谷駅についても、これに合わせて改良する計画を立て、2015年9月より本体工事に着手しました。具体的な駅改良の内容は、①埼京線ホームの移設(山手線ホームとの並列化)、②バリアフリー設備の整備、③自由通路の整備、④国道246号の拡幅です。なお、本工事は国土交通省関東地方整備局の国道246号拡幅事業との共同事業として進めるとともに、東西に横断する自由通路の整備を渋谷駅街区土地区画整理事業と一体で進めています。

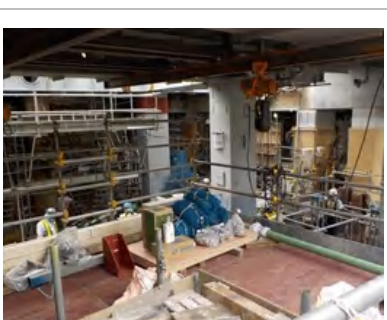


※出典: JR東日本HP(2015年7月14日プレスリリースJR渋谷駅改良工事の本体工事着手について)

3. 現場見学詳細

JR東日本社員の方に工事概要をレクチャーいただき、2班に分かれてJR渋谷駅内の見学を行いました。既に終了している埼京線の上りの線路切換工事は、46時間電車を止めての大規模切換工事でした。その短時間での圧倒的スケールの工事を記録映像で見せていただき、ただただ驚くばかりでした。渋谷駅の改札をくぐり、旅客が乗り降りするホームを歩き、周辺を見渡すと、線路の向こう側では再開発工事や渋谷で最も高い駅ビルの建設などが同時期に施工されている様子がうかがえました。

現在は、埼京線下りの移動に向けた工事を推進しており、2027 年までに、山手線の内回り、外回りの順番で切換え、山手線ホームの拡幅工事を実施します。山手線は始発が4:40、終電が1:07までと営業時間が長く、電気を止められる時間などを考慮すると、電車が止まっている状態で工事が可能な時間はわずか 2 時間程度です。鉄道工事の過酷な現状を知りました。見学会の後、質疑応答を行い、工事の自動システム化や山手線の切換間合時間の確保および代替輸送問題など活発な意見交換がなされました。

		
小林支部長の挨拶	渋谷駅改札をくぐってホームへ移動 (1 班)	埼京線ホームにて、上りの新設工事の 切換工事の説明を受ける(2 班)
		
ホームの前の桜島再開発工事の様子	高架橋構築工事の状況	来年までに埼京線の下り線をこう上 し、東側に横移動する計画
		
参加者一同(1 班・2 班)で記念撮影	東急東横線跡地。線路の上から杭を ねじ込む施工を実施中	質疑応答の様子

4. おわりに

7 年前に渋谷駅にヒカリエが誕生し、スクランブル交差点は多国籍の旅行者などで行き交うようになり、渋谷の街はどんどん変わっていています。これから、渋谷駅の工事により、周辺の街もより新しく生まれ変わり、国道も拡幅されます。渋谷は時代とともにどんどんスケールアップしていくということを再確認しました。

最後に、渋谷駅改良工事現場のJR東日本技術系女性社員は 2 割程度ということ踏まえ、男性社員の方々に対し、女性社員に気を遣うところは何かという質問がありました。その際、「女性がいるからといって、特に何も…」という、とてもナチュラルな回答があったことが印象的でした。「女性だから特別というわけではない、仕事は平等である。ただし、性別の違いがあるから重い荷物を持たせないことなどに配慮するということはある。また、男性とは違った視点でものを見ていて考え方などが参考になる。」という意見もありました。男性主体の現場では、ついつい男性基準の視点になりがちなところ、性別の違いで致し方ない部分は割り切った上で、女性社員をフラットに受け入れる渋谷駅の現場の雰囲気を知ることができて、今後の土木系女性技術者のよりいっそう明るい未来を感じることができました。

報告：大橋麻衣子（東日本支部）

キャリアセミナー 基調講演：天野玲子氏「土木から防災へ」他

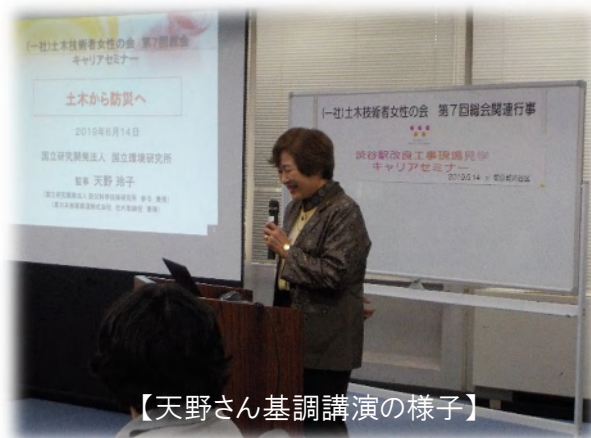
日時：2019 年 6 月 14 日（金） 16:00 - 17:30

場所：東急建設（株） 会議室

参加者：53 名

【当日の流れ】

- 16:00 開会挨拶
- 16:05 天野玲子さんによる基調講演「土木から防災へ」
- 16:35 質疑応答
- 16:45 グループディスカッション
- 17:15 グループ代表による発表
- 17:20 閉会挨拶
- 17:25 集合写真撮影・解散



【天野さん基調講演の様子】

【当日の様子】

第 7 回総会関連行事として企画された今回のキャリアセミナーは、基調講演に女性土木技術者の先駆けのひとりである天野玲子さん（国立研究開発法人 国立環境研究所 監事）のご登壇をいただきました。タイトルは「土木から防災へ」。お父様と見た映画「黒部の太陽」がきっかけで土木の世界を志したことから始まり、「ダムを造りたい」という夢を叶えるために天野さんが乗り越えてきた多くの壁、現在に至るまでの挑戦についてお話いただき、50 名以上の参加者は熱心に聴き入っていました。

グループディスカッションでは天野さんを含めた参加者が 9 班に分かれ自己紹介の後、講演の感想、自身のライフとワークについて述べました。講演の感想として多かったものは、「『無駄なことは何一つなかった』という言葉に励まされた」というものです。私も全く同意見であり、今後自らが目指す事へ直接関係が無いような仕事を行うときでも、前向きに、「いつかやりたいことに繋がっていく」と信じて頑張っ

いこうと思えました。自己紹介やワークとライフについては、様々なキャリアの方が多いのですが、土木業界で女性が働き続けるための環境を整えるために会の活動に参加するという皆さん共通の思いを感じることが出来ました。

最後に前会長の桑野玲子さんによるご挨拶をいただき、集合写真を撮影して解散となりました。



報告：熊本好美(東日本支部)

意見交換会

日時：2019年6月14日(金) 18:30 - 20:30

場所：GREEN GRILL渋谷店

参加者：53名

【当日の様子】

渋谷駅での現場見学会、東急建設(株)社屋でのキャリアセミナーが無事終了後、恒例の意見交換会が行われました。

会場は「GREEN GRILL 渋谷店」。こちらはbuffet形式、野菜中心のおしゃれな料理で女子会にぴったりのお店でした。受付でのくじ引きで各テーブルに分かれ、目にもお腹にもおいしい料理と共に会話の花が咲きました。もちろん席移動も可能でしたので、色々な会員の方同士の交流が行われたかと思えます。

後半には土木にまつわるクイズ大会(次ページ)がテーブル対抗で行われました。難易度は様々で大変盛り上がり、参加者の方にはとても楽しんでいただけたようでした。最終問題は当会倫理規定の穴埋め問題。改めて倫理規定を確認できた一時でした。

最後は集合写真を撮影して解散となりました。



【アイスクリームコーンに入った
ポテトサラダ etc】

●クイズ大会の内容(正解は最終スライド参照)

真のドボジョは誰だ？！

土木技術者クイズ

土木技術者女性の会



第1問（橋梁）

世界最長の吊橋で知られる明石海峡大橋の構造形式は、補剛トラス吊橋です。では、この橋に採用されている補剛桁は次のうちどれ？

- ① 連続補剛桁
- ② 2 ヒンジ補剛桁
- ③ 3 ヒンジ補剛桁



第2問（堤防）

戦国時代、武田信玄によって築いた堤として知られる「信玄堤」は次のうち、どれ？

①



②



③



第3問（ダム）

信濃川水系に建設された黒又ダムの特徴でないものは？

- ①石張りのコンクリートのダム
- ②堤頂はすべてラジアルゲート
- ③1926年完成



第4問（道路材料）

舗装用のアスファルトとして使用されるものは次のうちどれ？

- ①カットバック・アスファルト
- ②ストレート・アスファルト
- ③ブローン・アスファルト



第5問（都市トンネル）

東京湾アクアライントンネルはシールド工法で作られましたが、シールド工法誕生のきっかけとなった生物は？

①クシクラゲ



②ムラサキイガイ



③フナクイムシ



第6問（鉄道）

日本で最初に開業した営業用地下路線は？

- ①宮城電気鉄道（JR仙石線）
- ②東京地下鉄道（東京メトロ銀座線）
- ③神戸有馬電気鉄道湊川地下線（神戸電鉄有馬線）



第7問（建設重機）

この重機は何でしょう？



- ①スクレーパ
- ②ホイールローダ
- ③モータグレーダ

第8問（歴史）

日本地図の原型になった古式の日本地図を〇〇図と言われており、江戸時代中期まで使われていました。この〇〇とは？

- ①最澄
- ②空海
- ③行基





【とても盛り上がりました！】



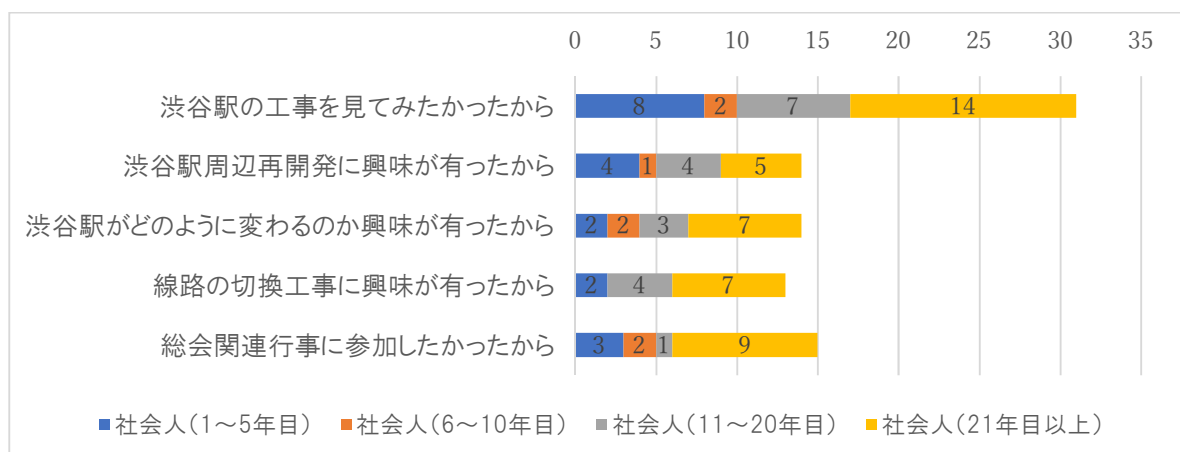
報告：熊本好美(東日本支部)

総会・関連行事 参加者アンケート結果

【回答者】現場見学会:38名、キャリアセミナー:40名、意見交換会:37名、総会:50名
 総会関連行事全体:56名

1. 現場見学会

Q1 参加した動機を教えてください。【複数選択可】

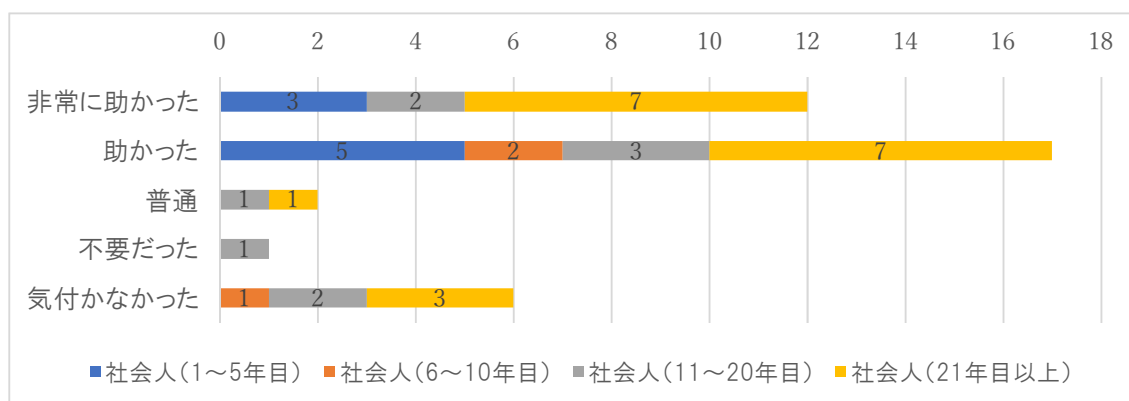


その他の回答：仕事の関係ではなかなかこういった大規模な建設現場を見る機会が無いから

Q2 「JR 渋谷駅改良工事現場見学」において、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

- ・ビデオを用いた説明により、これまでの施工工程が大変分かりやすく、現場見学時の理解にも繋がった。
- ・現場では、都心の雑音の中でもイヤホンで説明が聞けて、とても良かったです。
- ・狭小場所また使用区間で時間的にも制約のある現場での IT と人力により安全第一に施工される事、スケールの大きさに圧倒されました。
- ・深夜の限られた数時間の中での工夫された施工方法を知ることができて、大変勉強になりました。
- ・女性であることを気にしないと、きっぱり言って下さる理想の上司がおられること。
- ・駅を使うお客様に対しての利便性を追求する姿勢が素晴らしい。

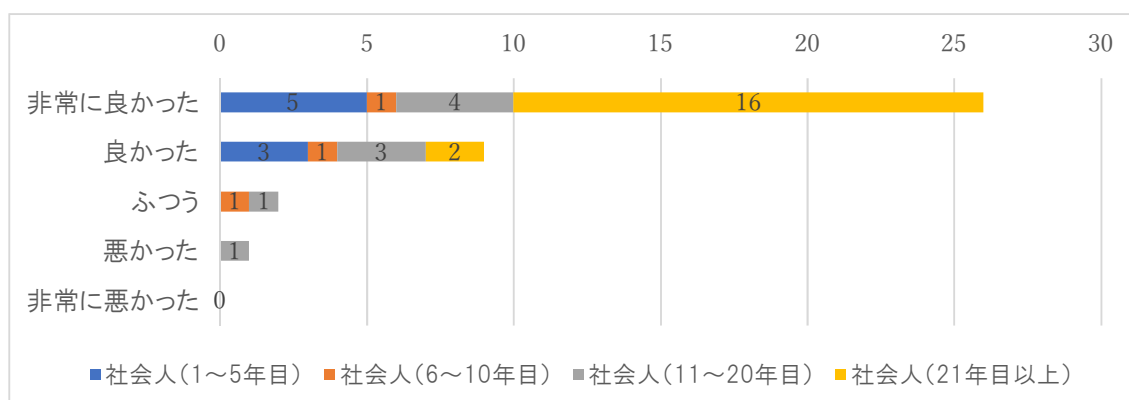
Q3 渋谷駅から会場までの案内係配置について、ご意見をお聞かせください。



Q4 今回の見学会で改善すべき点、また今後の見学会でのご提案などがあれば教えてください。

- ・気温も少し高かったため、見学途中に休憩を挟めると良かったと思う。
- ・都内で一般者の多数いる中見学するところもあったので、班はもう少し少人数であると良かったのではと思った(1列で歩くとかかなり長蛇であった)。
- ・無線での案内は大変有り難かったのですが、頻繁に音が途切れて聞き辛かったのが残念でした。
- ・渋谷は人が多過ぎるため、案内の方に気付きににくいところもありました。

Q5 見学会全体の感想をお聞かせください。

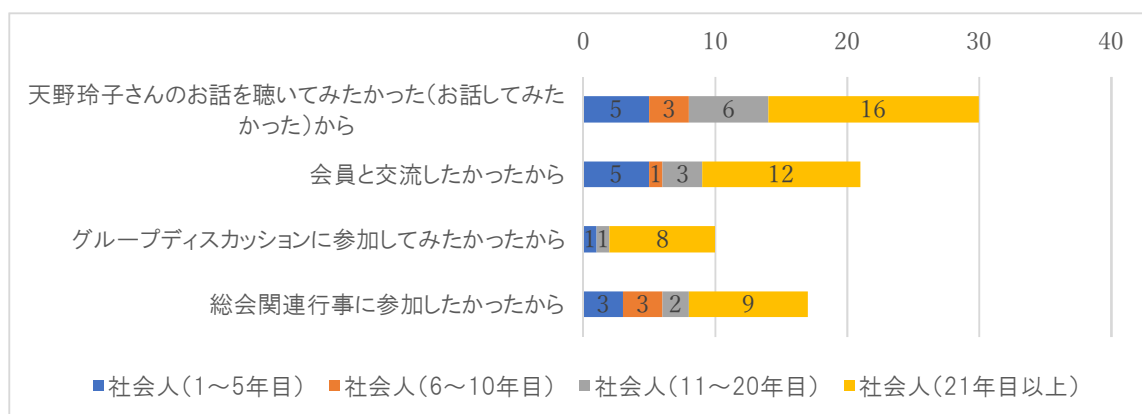


Q6 ご意見や感想などがあれば、ご自由にお書き下さい。

- ・普段東京には行かないため、埼京線などの固有名詞が難しかったです。
- ・駅利用者、通行人等が多数いる中での工事は非常に苦勞すると思いますが、仮囲いひとつとっても色々配慮されていると思いました。
- ・荷物置き場や着替えのスペースも、遠方からの参加だったので、とてもありがたかったです。

2. キャリアセミナー

Q1 参加した動機を教えてください。【複数選択可】

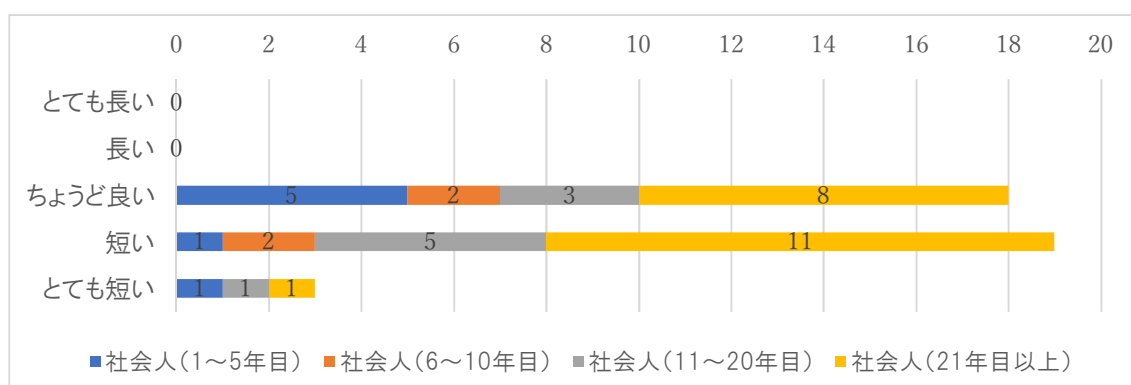


その他の回答：東日本支部で開催を継続しているキャリアセミナーがどんなものか経験してみたかった

Q2 基調講演の内容について感想をお聞かせください。

- ・天野さんは女性の入学・入社を断られても諦めなかったことをお聞きし、とても驚きました。
- ・とにかくすごい人なので、自分に置き換えて考えることはできませんが、広い視野の方の話はとても勉強になり面白かったです。
- ・本来やりたかった仕事ではなくても、その後に役立つことがある、ということが一番印象に残った。天野さんが一生懸命取り組んでいたからこそ、その後に役立つ経験となっているわけであり、まさに継続は力なりとするためには、日々真剣に向き合うことが大切であると感じた。
- ・すごい方のお話を聞くことができて、女性の会へ入会して良かったと改めて感じました。

Q3 基調講演の時間(講演 30 分、質疑 10 分)について教えてください。



Q4 グループディスカッションで話して良かったテーマ、または話してみたかったテーマがあれば教えてください。

- ・職場での男性とのコミュニケーション術、仕事と育児家事の両立方法。
- ・育児休暇、介護休暇についてのテーマも話してみたかった。
- ・ユニコーン、パンダ世代の先輩方に、ステップアップして良かった経験について聞いてみたい。自分の職場の管理職は、偉くなるほどしんどそうなので。
- ・働き方改革について、企業により取り組みに差があると感じたので、会員ともっと話しをしてみたいです。
- ・自己紹介で Work、Life は、良かったです。若い方の今この業界で続けていく上でネックな点を聞きたかったです。
- ・働き方改革が進んできて、自分の時間が増えたことを実感し、何かを始めなければと思っている方が複数おられ、驚いた。また、先々を考え、自分の人事を社内就活した、という姿勢にも刺激を受けた。
- ・働き方改革について話題がでました。理想と現実の違いがあるようでした。仕事と家事や介護の両立、気持ちの持ち方など興味があります。
- ・お互いのバックグラウンド(職種や専攻等)も分かった上で話ができればもう少し踏み込んだ内容で話せたかなと思いました。
- ・特にライフについて、同世代以上の方のお話を聞けて良かった。

Q5 セミナーに参加して、良かったこと、印象に残ったこと、気づいたことなどがあれば教えてください。

※あなたにとっての「気づき」は何だったのか、ぜひお書きください。

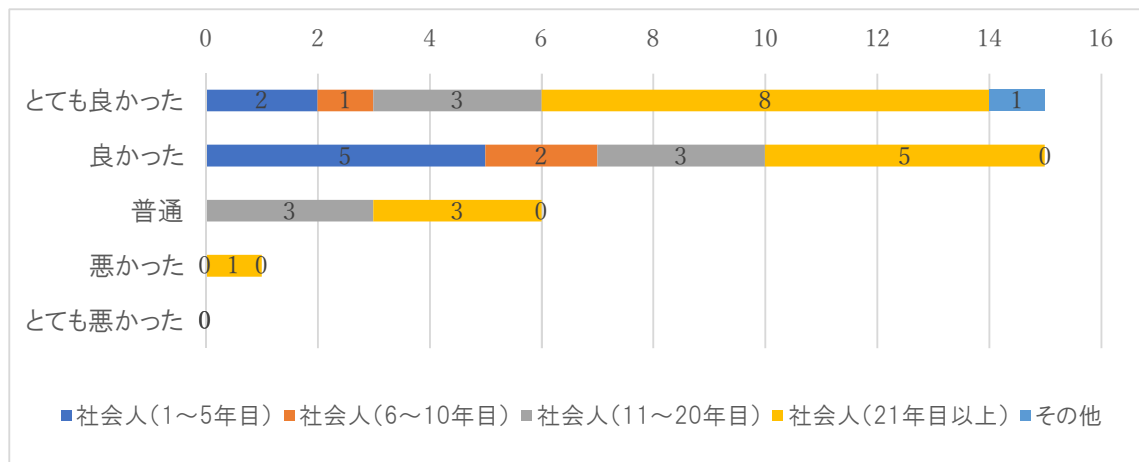
- ・いろんな環境で働いている人がたくさんいらっしゃることを改めて知りました。また資格を持つことは非常に大切なことであることを実感できました。
- ・年齢層がバラバラでも、技術職で働く女性という共通点があるからこそ、共感できる点が多く、心強かった。
- ・1人の悩みに対して、別の会社では「こんな体制をとっている」と話があり、視野が広がった。
- ・「女性の会」は私にとって人生の学びの場となっています。
- ・皆さんとの交流により、さまざまな環境を乗り越え第一線で働かれる女性が多いこと、逆に自分の器の小ささを実感し、自分はまだまだだと謙虚になれます。

Q6 セミナーの進行における改善点、ご提案などがあれば教えてください。

- ・基調講演もグループディスカッションも深くするためにはもう少し時間を取れると良かったと思う。
- ・グループに進行役の方がおられたので、スムーズにディスカッション出来て良かったです。
- ・時間が短かったです。が、その時間内に終われるように途中の声かけなど良かったです。

3. 意見交換会

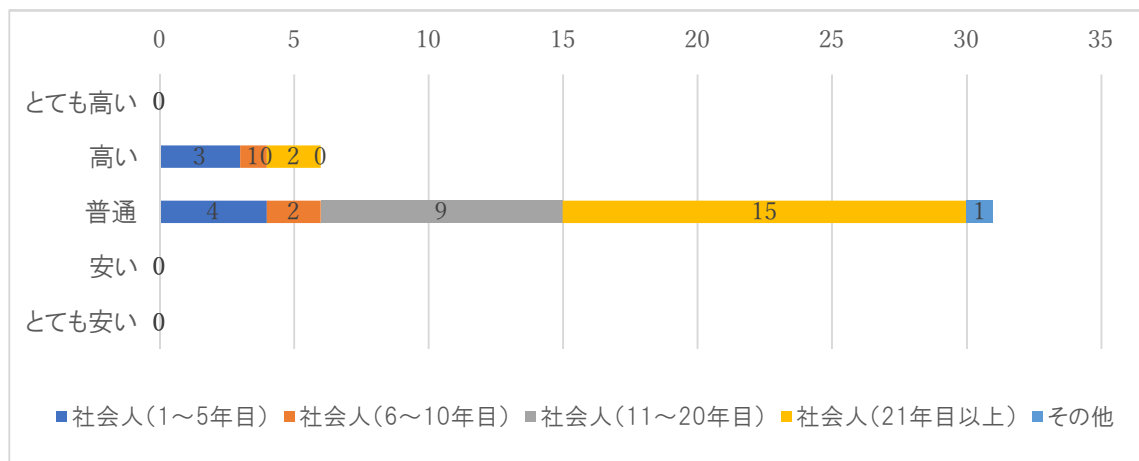
Q1 会場(立地・空間・料理・飲み物など)について教えてください。



回答の理由:

- ・セミナー会場から近く、分かりやすかった。プロジェクターから遠く、映し出された写真があまり見えなかった。料理は少ないと思った。
- ・普段、会社の人と行かないようなオシャレなお店で嬉しかったです。さらに貸切にして頂いたのでまわりを気にすることなく楽しめました。
- ・日本酒があればもっと良かった。
- ・料理を取りに行くのが手間で、あまり食べられなかった。

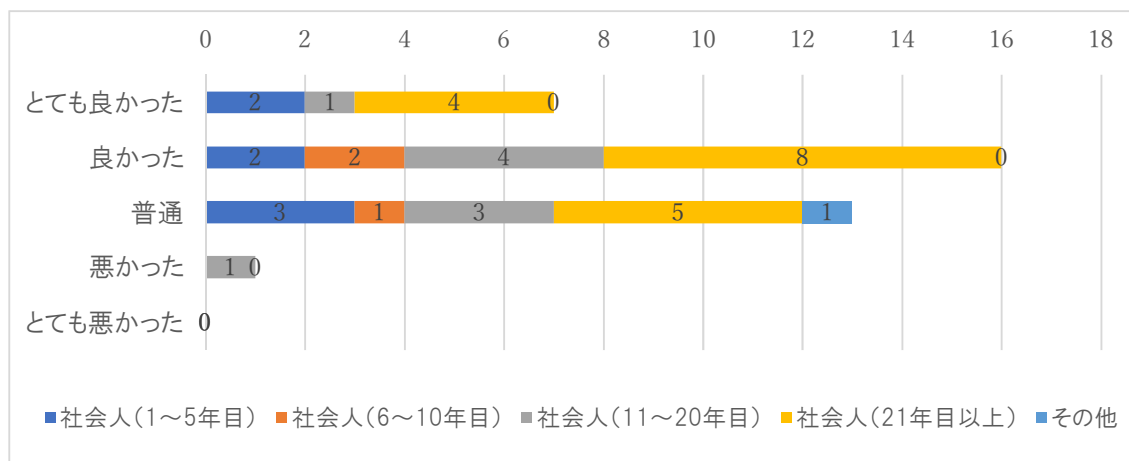
Q2 会費(5,000 円)について教えてください。



回答の理由:

- ・お店貸切で飲み放題で、快適な空間だったので、妥当だと思います。

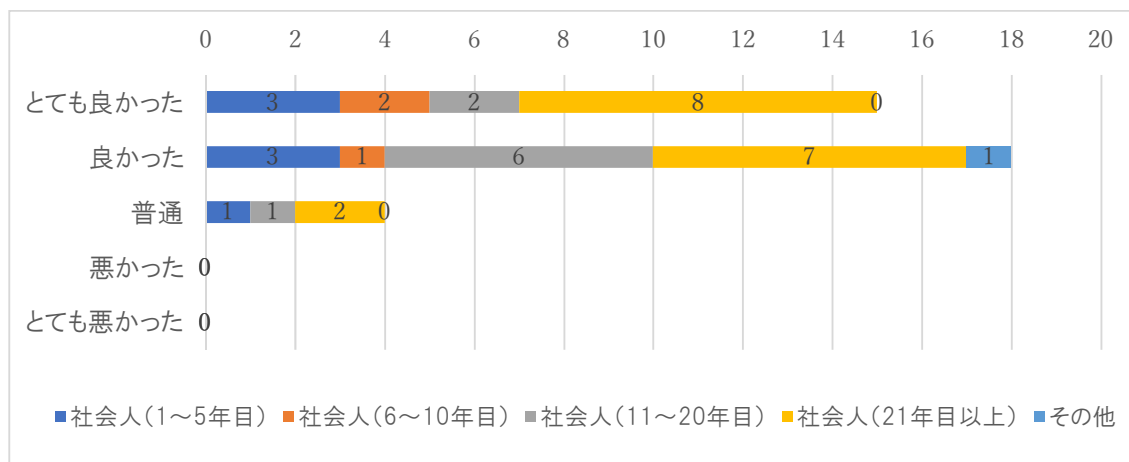
Q3 配席について教えてください。



回答の理由：

- ・いつものメンバーにならずに、交流できて、良かったです。
- ・何故か、西日本が固まったりして、残念でした。ある程度地区を分けてクジを引ければ良かったのですが。
- ・席の近くの人とはたくさん話せたが、思ったより移動出来なかった。

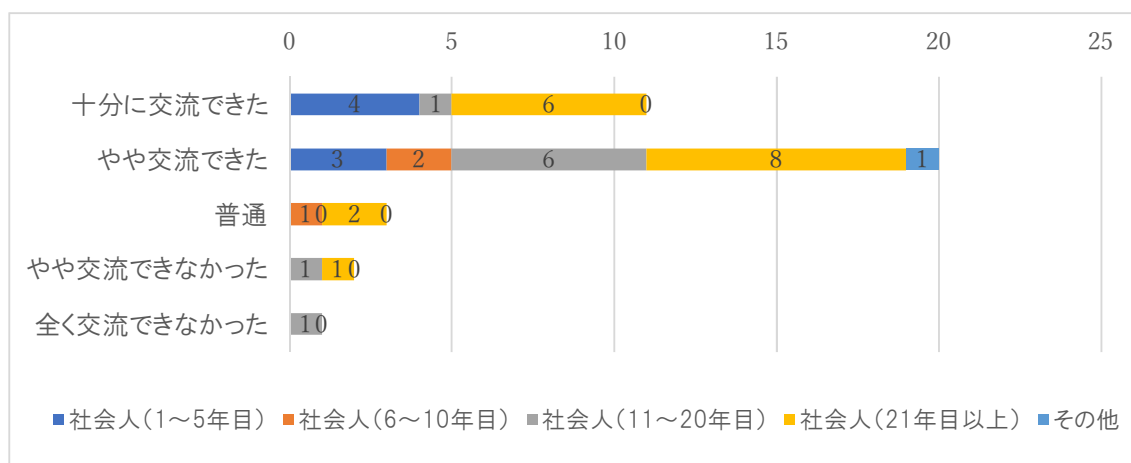
Q4 余興(グループ対抗 3 択土木クイズ+支部紹介)について教えてください。



回答の理由：

- ・正解の解説をもう少し聞きたかった。せっかくの勉強の機会だったので。
- ・チームで盛り上がり、マニアックな土木の話はここでしかできない。面白かった。
- ・最後の問題が会の倫理規定を紹介することにもなっており、その発想が素晴らしいと思いました。

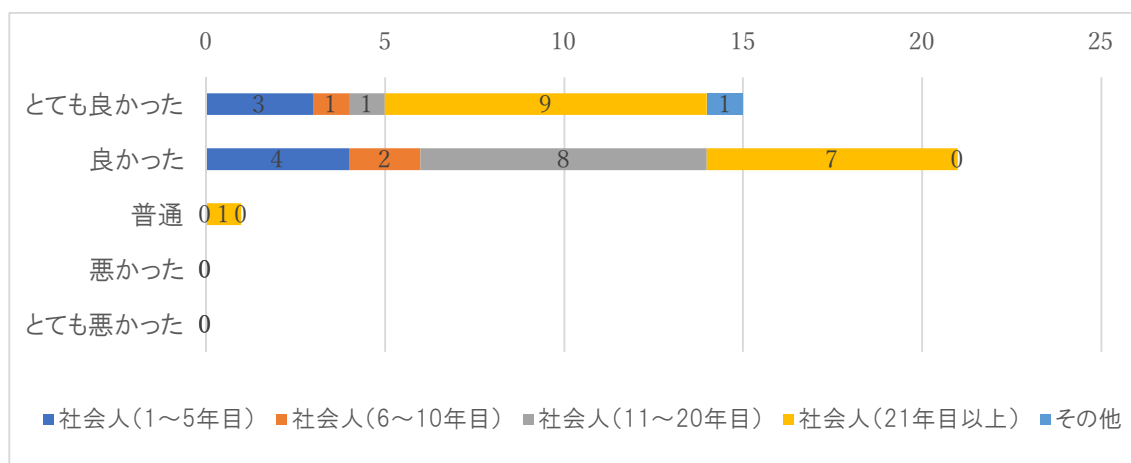
Q5 会員同士の交流について教えてください。



回答の理由:

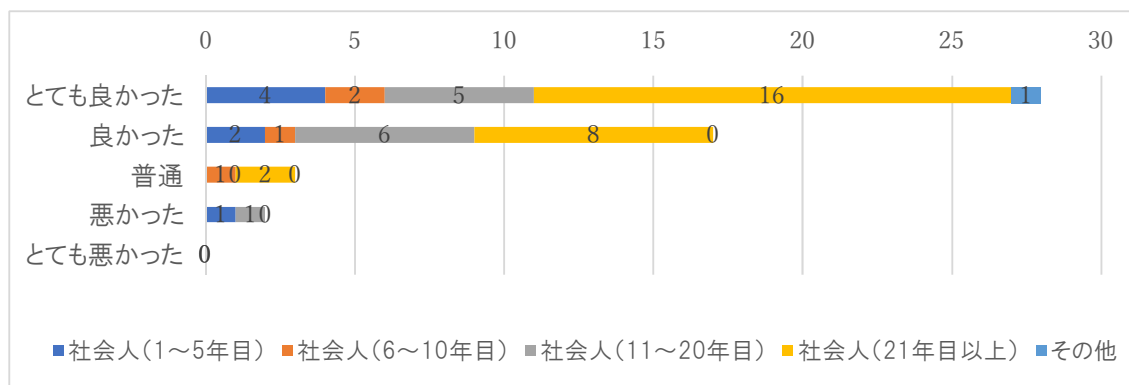
- ・席を移動するのがなかなか出来なく席以外の方々と話すチャンスが作れませんでした。
- ・輪が既に出来上がっているので、なかなかその中に入っていくには厳しいと感じた。
- ・会場が広く、移動しやすかったため、様々な方々と交流できました。

Q6 意見交換会全体の感想をお聞かせください。



4. 総会

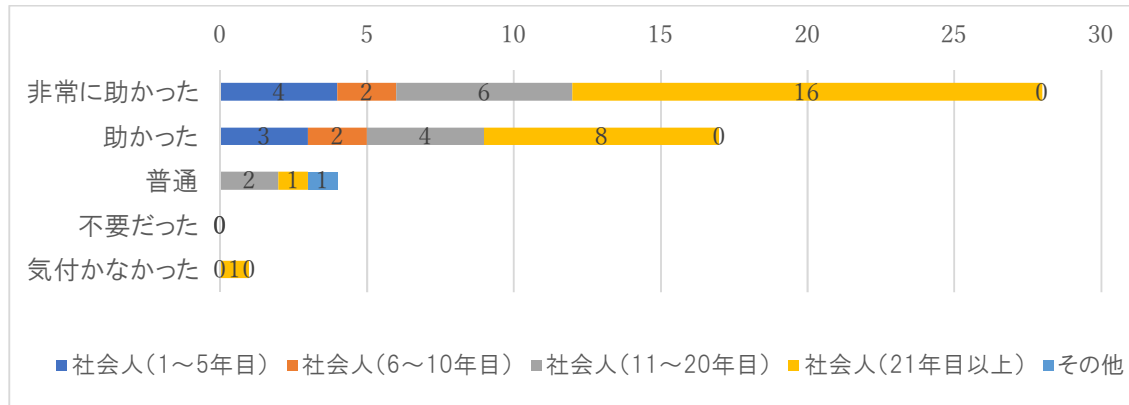
Q1 会場について教えてください。



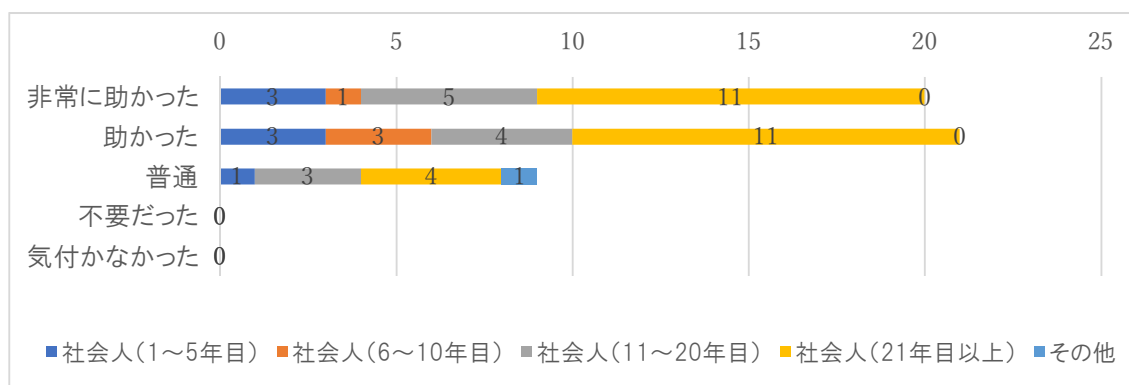
回答の理由：

- ・最寄り駅や空港、宿泊先からのアクセスが良い。きれい。トイレの数も多くて助かりました。
- ・広い部屋だったので、開放感があった。空調もちょうどよかった。
- ・視力が落ちているので、後方の席用のディスプレイがあって助かりました。
- ・キッズルームが併設されていたので、お母さん達も安心して総会に出席出来たのではないかと思います。

Q2 JR 大崎駅から会場までの案内係配置について、ご意見をお聞かせください。

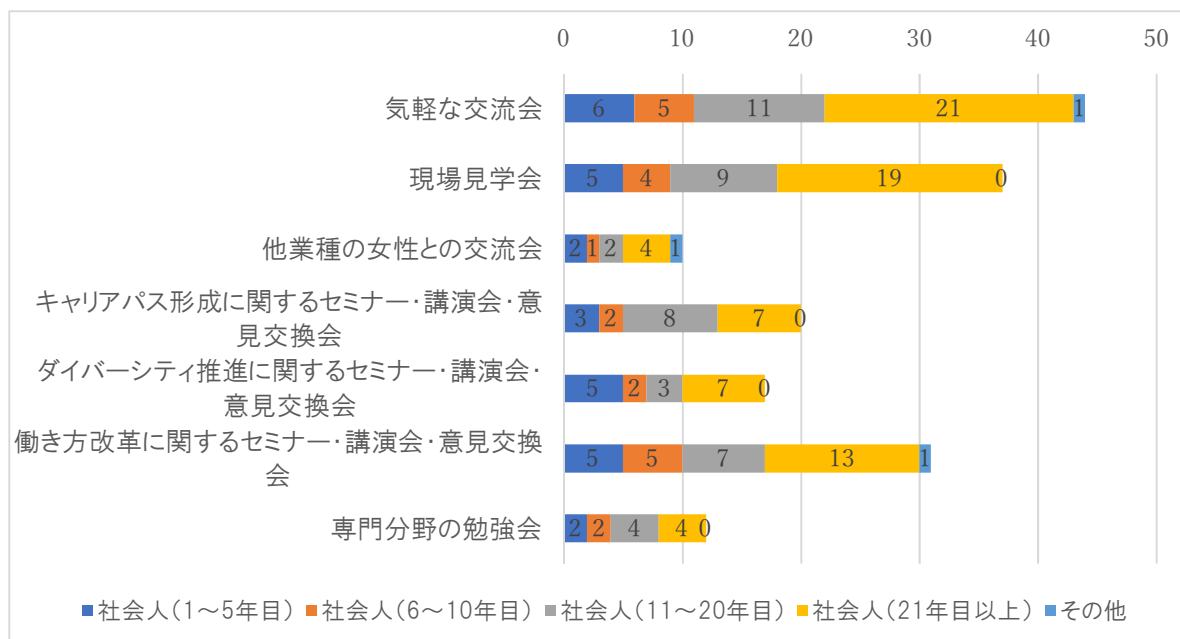


Q3 6月5日に配信された「2019 総会詳細案内」について、教えてください。



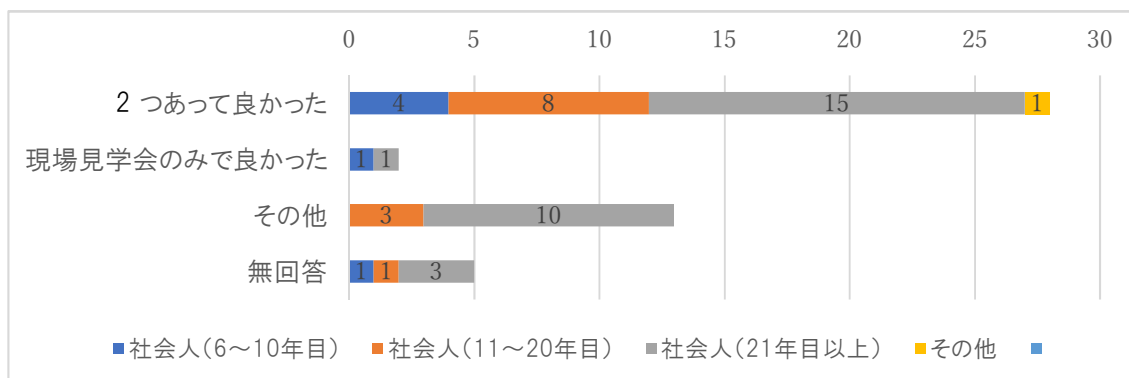
5. 総会関連行事全体

Q1 今後の総会関連行事で相応しいと思う企画があれば教えてください。【複数選択可】



その他の回答：メンタルケアのセミナー、他支部の活動を知ることができるような意見交換会

Q2 今回、現場見学会とキャリアセミナーの2つのイベントを実施したことについて教えてください。



Q3 最後に、今回の総会幹事(東日本支部)に対して、ご意見や感想などがあれば、ご自由にお書きください。

- ・後日追加の詳細案内や道案内など、随所の細やかな心遣いがとてもありがたかったです。
- ・Google フォームによる参加申し込みが便利でした。素晴らしい総会行事だったと思います。ありがとうございました。
- ・都市土木でも大変難易度の高い現場の見学など東京開催らしい充実した総会となり感謝しています。
- ・細かい気配りをしていただき、本当にありがとうございました。雨の中、道案内に立ってくださったこと感謝しています。

報告：鈴木明子(東日本支部)

参加者の感想



はじめての総会
高松寛子(東日本支部)

◇自己紹介◇

日本大学理工学部から、大学院に進学し、2019 年の春社会人になりました！ 大学在学時から事務局スタッフの屋代先輩にとってもお世話になり、現場見学などにも参加させていただいて、今回初めて総会と関連行事全てに参加しました。

◇現場見学会◇

現場に行く前の工事概要の説明で、昼夜 2 泊 3 日の埼京線線路移設や、夜間の国道上空の桁架け替えなどの施工の様子を動画で見させていただきました。その後、実際に現場を見て、“なるほどー” “すごいなー”と感心しました。普段どおりかかってもいつの間にか変わっている景色に気づくこともないですが、改めて“土木ってすごいな”と感じました。2018 年 3 月の品川ゲートウェイ駅建設の見学会は広々とした現場で、今回の狭隘な現場とは全く違いました。現場それぞれの状況は足を運ばないと分からず、運んでみたら毎回何か感じるものがあり、これからも見学の機会を大切にしようと思います。

◇講演会◇

初めて天野さんの講演会に参加し、経歴や、過去に仕事をやっていく中で悩んだ時のこと、今は民間企業で得た経験や知識を、国を動かす原動力として「孫のための土木」という「防災」に尽力されている話を聞きました。「無駄な経験は何もない」という言葉のとおり、経験したことを活かして、その都度明確な目標や目的を見据えて働かれていると感じました。土木に携わって働くことの意義や理想について考えさせられました。

◇グループワーク◇

短い時間でしたが、グループで講演会の感想を話すなかで、6 人それぞれの家庭や仕事の状況で、悩みがあったり苦労したりしているけれど、やっぱり土木の仕事が好きで、誇りをもって仕事をしている方々だと感じました。さらに、業界の未来を考えて働き方改革に取り組んでいる話なども聞くことができ、とても有意義でした。

◇意見交換会◇

さすが“東京”だなと思うおしゃれなお店で、おいしい料理でした。クイズはなかなか難しかったですが、同じ班の方と相談したり、正解して盛り上がったりして、懇親がより深まりとても楽しかったです。2 次会でも話は尽きず、久しぶりに息切れして疲れるほど笑いました。1 次会も 2 次会も、お肉を食べたり、話して笑ったり忙しく、女子らしい写真を 1 枚も撮らずに終わっていました。次回からは楽しい思い出を残したいと思います。

◇総会◇

今回の総会では、3 月 31 日時点で学生会員だったため、議決権は無く、出席のみでした。正直、シャンシャン総会だと思っていました。実際は、会を良くするための議題と多くの意見があって、それらの討議を盛り込んだ採決の結果となって、この会は本当に会員 1 人 1 人の意見で運営されているんだと

実感しました。次回の総会では議決権をもって出席することになるので、会員として意見をもって参加したいと思います。

◇最後に◇

今回 2 日間の関連行事と総会に出席して、スタッフの方々の丁寧な案内、細かな準備、工程管理、心配りなどに本当に驚きました。素晴らしいスタッフの皆さんと、社会的役割を考えて活動されている会員がこんなにたくさんいる会に所属していることに誇りを感じます。私も会に貢献できるように、これからも参加していきたいと思います。スタッフの皆さん、楽しく話してくださった皆さん、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



多くの刺激を受けた初参加の総会 玉城恵理(東日本支部)

女性技術者、特に中小企業で現場代理人や監理技術者として働く女性と情報交換がしたく、横のつながりを求めて「土木技術者女性の会」に入会しましたが、2017 年 9 月の入会からこれまで 1 回も行事に参加していませんでした。今回、東京での開催ということで、ようやく参加することができました。参加してみて、技術者として土木に携わる女性が大勢いることに驚きました。しかも、技術士という技術者として最高峰の資格を取得している人がほとんどです。

その中でも自分と同様に現場で施工管理をやっている女性に出会えたことが刺激になりました。彼女は作業服姿に誇りを持っていて、土木はなくてはならない職業だとも言っていました。60 歳までのあと 3 年間で適当にやり抜こうなんて思っていた私ですが、できることはチャレンジして終わりたいと思えるようになりました。

キャリアセミナーでは、講師の天野玲子さんご自身のキャリアのお話が大変印象的でした。天野さんは女性土木技術者のユニコーン世代で、大学入学時に土木工学を目指したものの女性の入学は認められず、途中で何とか土木工学科に転じたものの、ゼネコン入社時も現場ではなく研究所に配属されるなど、男性しかいない土木の世界に入る大変さはいまとは比べ物になりません。しかし、無駄なことは何ひとつなかったと天野さんは言います。そんな先輩がいたからこそ、今の女性技術者の活躍があるのだと思います。

また、講演のテーマが「土木から防災へ」でしたが、港湾や河川の整備、橋梁工事、防災・景観整備事業など、公共工事を多く手掛けるわが社にも関係の深いテーマで、興味深く拝聴しました。

現場見学は「JR渋谷駅改良工事」です。世田谷育ちの私にとって渋谷駅は子供の頃から馴染み深い駅でした。1996 年に埼京線ホームが完成したとき、便利になったと思いましたが、恵比寿駅の埼京線ホームは遠くて乗り換えが大変だったことを覚えています。そんな埼京線のホームを移動させる工事は終電後の午前 1 時から始発が走る 4 時半までに施工しなければならず、近接する首都高速、旧駅舎との空間の取り合いにも緻密さが要求されるなど、厳しい制約があります。その中で女性技術者が活躍している姿を見て「うれしい、すごい、やるじゃん！」と高揚しました。

総会では納得いくまで意見を出し合う場を体験して、女性の厳しさを感じました。現場では設計書どおりにならないことがよくあり、その場に合わせ「収まりよく施工する」といった表現がよく使われますが、簡単に妥協せず、完全を求める女性の厳しさは驚きでもありました。

土木の仕事は社会にとってなくてはならない仕事です。わが社では、会社を変わっても通用する実力を持つ女性の育成を目指しています。そうすれば、仕事や働き方を選ぶことができるから。さらに今回の行事に参加して、ポテンシャル(可能性)×ポータブルスキル(業種・職種の垣根を越えてどこでも活用できるスキル)×専門軸を持ち、もうひとつ成長したいと感ずることができました。

次回も時間が許せばぜひ参加したいです。



初めての総会参加 仁多見加奈子(東日本支部)

3年目にして初めて総会に参加しました。女性のみの総会はどんな感じなのだろうと楽しみにしておりました。

JR 渋谷駅改良工事現場見学会では、工事ヤードの中に入り、近くで見学でき大変勉強になりました。駅の工事は特に不便だなと思うことが多いのですが、電車も止めず狭い範囲でどうしたら早くスムーズにできるのかと計画していることを知ることができ、工事への見方が変わりました。田舎者の私は、電車が他にも走っているのだから止めてしまえばいいのに…とも思いましたが、そうはいかない都会の主要路線。時間制限のある工事動画を見たときは感動さえ覚えました。美しい光景です。渋谷プロジェクトセンターの女性技術者の方が「現場に女性がいるのが当たり前となっている」といった意見に「当たり前と思っているのであれば馴染んでいるということで、女性ではなく技術者として考えてくれていることが嬉しい」と話していたことが印象的でした。

総会では、想像する総会ではなかった、というのがまずあります。ビックリしました。質問・意見・提案を真剣に受け止めて、熱い議論をする。想いは様々ですが、目的は1つ。この会をより良くしたいということ。エネルギッシュな総会にパワーを奪われたような感覚になった私でした…(笑)。手を挙げて、話ができるようになるまでは時間がかかるかもしれませんが、ここにいる皆さんは仲間なのだからと自信を持ちたいと思います。

また、弊社においても女性技術者交流会を開催予定なのでとても良い機会となりました。会員の皆さまのようなパワーがあればどんなことでも乗り越えられるのではないかと思えた2日間でした。

ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



建設中の「渋谷スクランブルスクエア」



「ハチ公広場」までの案内図もオシャレに馴染んでいました



JR 渋谷駅オリジナルキャラクター
「しゅやぎちゃん」



はじめての総会 服部典子(東日本支部)

入会からはや数年、なにか参加してみようと思いつづるずると来てしまいましたが、今年 3 月の品川新駅現場見学会@東日本に参加し、それをきっかけに、総会・関連行事に初めて申込みをしました。

◇現場見学会・キャリアセミナー◇

見学会は JR 渋谷駅改良工事の現場でした。普段、渋谷駅を利用する機会がないのですが、当日職場から見学会に向かう際、ちょうど埼京線ホームに降りました。埼京線と山手線ホームをつなぐ連絡通路がなくなっている様子や「並ぶぜ!!ホーム」のポスターを見て一人テンションが上がりました。

集合場所から PJ センターに移動し、工事概要の説明と線路切替工事のビデオ視聴により工事の全体像を確認します。自身や所属会社ではまず経験できない分野なので興味津々です。供用中の駅構内のため空間的・時間的制約が厳しいことが前提で、周辺の再開発でヤード確保も難しい中、工事の影響を最小限とすべく、事前の試験施工等で所要時間を割り出し、綿密な施工計画を練り…正直、そこまでするのかと驚きました。列車を止めて工事できないのかという質問に対して、首都圏は線路切替等がない限りは運休しないという回答が印象的で、交通インフラを担う立場の重さを実感しました。(関係ないのですが、工事概要説明と見学中に写真をたくさん撮影したつもりが、スマホアプリの使い方がよく分かっておらず途中まで全部撮れてなかったことに気づき、ショックを受けています…)

続いて実施されたキャリアセミナーの基調講演では天野さんの「人生に無駄はない(ちょっと違ったらすみません)」といったお言葉に励まされました。その時点では本望ではなかった異動・人事等も、その場所々々で一所懸命に頑張っていけば、なにかに繋がるということだと勝手に理解しています。その後のグループディスカッションは、メンバーの多様なライフ・ワークを知ることができました。

◇意見交換会◇

懇親会席順はくじ引きで、これまた初めましての方も多かったのですが、支部紹介やクイズ等で盛り上がり、お酒やお料理の力もあってか本当に楽しい時間を過ごさせていただきました。おそらく周りにいらっしゃる方からは「ビールをよく飲む人」として認知していただけたかと思います。。。

◇総会◇

大崎駅から会場までのルートの途中にスタッフの方々が立っていて、迷わないように導いてくださいました。肌寒い、しかも降雨の中でなんと細やかなお心遣い…！ と驚きました。

総会では、今回は特に定款変更という議題があったからかもしれませんが、活発なやりとりが交わされました。主張はそれぞれですが、皆さん共通しているのは、会のこれまでや今後について真摯に考えておられるということです。ここに書くのも失礼なのかもしれませんが、実は総会出席にあたり、私は事前に総会資料を読み込むことさえしていませんでした。反省するとともに、次回は総会資料を読み込んで、自分なりに会の活動・在り方について考えてみようと思っています。

◇最後に◇

二日間通じて、普段とは異なる環境でたくさんの方々との出会いがあり、とても新鮮でした。スタッフの皆さま、それぞれお仕事をされている中で事前準備と当日の運営と大変だったと思います。お疲れ様でした。貴重な機会、交流の場をいただきまして感謝しております！(写真:並ぶぜ!!ホーム のポスター)





初めて土木技術者女性の会に参加して 八木祥子(東日本支部)

2019 年度の土木技術者女性の会のセミナー、懇親会、総会に参加させていただきました。今回参加するにあたり、事務局をはじめ総会に携われた方々と参加者の皆さんにあらためて感謝申し上げます。

私は現在、大学院で経営学を学んでおります。研究テーマに土木女性技術者を選ばせていただきましたので、技術者として活躍されている皆さんにお会いし、お話を伺いたくて今回初めて参加致しました。

セミナーや懇親会などで、「なぜ土木女性技術者をテーマにされたのですか」と多くの方に聞かれました。それは、男性社会と言われる建設業に土木技術者として入り、さらにトンネル内の仕事ができるように労働基準法第 64 条の 2 を改め、今ではさまざまな職域で活躍されている姿に心から感銘し、困難を持って働いている多くの女性にとって重要な示唆を得ることができると思ったからです。

天野玲子さんの講演では、「人生に無駄はない。合わないと思っていた仕事でも、あとで役に立つかもしれない」、「女性は生活の中心にいて、生活者の視点で見ることができる。トータルで見たらどうなるのかという視点を忘れないでほしい」という言葉に感銘を受けました。天野さんは、土木女性技術者の普及や地位の向上に使命を持って取り組んでいらっしゃる方で、男性社会の中で女性の視点が長所となること、風に向かって頑張り続けるのではなく、風をよけながらしなやかに頑張ってこられた姿に感銘を受けました。そして、仕事に対して完璧主義だけれども、他人に対してはおおらかであることが必要なのだと感じました。

グループディスカッションでは、土木技術者の仕事が多様であることを学びました。男性社会の中で力を発揮するために、資格を取得してキャリアアップされている方、周りの方に助けられながら仕事をしている方など皆さんが真摯に仕事に向き合う姿が印象的でした。

総会では、さまざまな議論があり、今後について議論をする中で、土木技術者女性の会に対する皆さんの真剣な思いが伝わってきました。自分の考えをしっかりと言葉にでき、自分で道を切り拓く強い女性が、これからの時代では求められているのだと思いました。

セミナー、総会、懇親会でお会いした皆さんは、キラキラと輝いていて、とても素敵な女性たちでした。会の終了後には、皆さんからパワーをいただき、参加する前より元気になっている自分に気がつきました。男性社会において、女性は目立たないようにしている方が楽なのかもしれないと思っていた時期もありましたが、これからは自分が正しいのではないかと思ったことは、きちんと言葉にして言ってみようと思えるようになりました。そして、肩の力を抜いて、何よりも仕事を続けることに意義があるという言葉が指針になりたいと思いました。

2 日間の土木技術者女性の会が終わり、この会が職場に戻って働くときの原動力となっているのだと感じました。土木女性技術者は、職場ではマイノリティであり、孤立している人も多いと思われます。しかし、女性が持てる力を発揮していくためには、悩みなどを共有し、皆さんがどのように頑張っているかなど、さまざまなお話を聞ける場が必要であることが分かりました。志と情熱を持って仕事に取り組んでいる女性たちの中にいると、心地よさや元気の源のようなものを得ることができたように思いました。土木技術者の女性について私なりの視点や感覚を大事にして土木女性技術者の魅力を伝えていきたいと思います。まだ勉強中なので、分からないことばかりです。これからもどうぞよろしくお願い致します。

最後になりますが、社会の発展のために多様性を重んじ、積極的に女性の登用を図る企業こそが将来性のある企業だと確信しています。真の実力をもった皆さんが指導的地位となり、ますます活躍されることを心よりお祈りしています。



新たな気持ち 柳瀬香織(東日本支部)

今年入会して初めての行事が総会でした。なんでもやってみるというのが私の信条なので、現場見学会、キャリアセミナー、意見交換会、総会とフルコースでの参加となりました。

初参加の感想は、「皆さん熱い！」です。

現場見学会においては、真剣に聞き入る様子であふれる熱意が感じられ、日々の皆さんの仕事ぶりが垣間見られました。私にとっては、駅の改修工事を目にするのは初めての経験で、物珍しさでいっぱいでしたが、駅という特殊性に安全管理の難しさと大切さを再認識しました。

キャリアセミナーでは、基調講演の天野玲子さんの貴重なお話が聞けました。土木屋をめざしたきっかけから夢の実現まで、さらっとお話しされましたが、そこには挫折や困惑、もどかしさなどがあつたと思います。しかし、それらを一喝するような、あきらめないという気持ちと継続があり今がある、という現実非常に勇気を貰いました。私は小さな会社の社長という職に就いています。この肩書きには良い面も当然ありますが、逆もしかり。部下からの話を聞く機会が半減したり、人生の先輩方から意見をいただく機会が無くなったりすることがよくあることも知っています。アドバイスもなかなかして貰えない、想像以上に孤独です。今まさに、自分の置かれた環境などであきらめようとしていた事柄もありました。しかし、天野さんのお話を聞くうちに、弱音は一喝され、あきらめるのはいつでもできるのだから、まだ頑張ろうと思えました。本当に運命的なタイミングに感謝しています。

意見交換会では、美味しい食事をいただきながら近況や情報交換に勤しみ、楽しい時間を過ごせましたが、クイズ大会になると土木愛あふれる技術者としての一面を見せていただきました。

1日目だけでも盛りだくさんでしたが、2日目にはさらなる「熱い！」が待ち受けていました。総会です。今まで、多数の総会に出席してきましたが、このような総会は初めてでした。私の認識ですと総会とは、議長の進行に「異議なし」と唱え終了するものと思っていました。ところが隣の方に、「何なんでしょう？いつもこのような総会が行われているのですか？信じられない！」と思わず聞いてしまうぐらいの、カルチャーショックでした。いかに、真剣に会の活動に関心を寄せ、熱意を持って行動しようとしているのか手が取るように分かる素晴らしい議論の場でした。たった2日間でしたが、様々な事を体験し、自分の心根にもたくさんの小さな種が蒔かれた大切な時間でした。ありがとうございました。



渋谷駅改修工事 資材搬入口



はじめて現場見学会・総会に参加して 四元聡子(東日本支部)

今回、入会してから初めて現場見学会、総会に参加しました。全国の会員の方とお会いして、お話しできる大変貴重な体験をさせていただきました。

現場見学会は、私が勤めている会社の事務所が担当している渋谷駅改良工事だったので、参加されている方々がどのように現場を見て、感じていらっしゃるのか、とても気になりました。皆さんが土木技術者として、視点の異なる考え方や質問をされていて、社内では気づけない観点を得ることができました。

また、キャリアセミナーでは講師の天野玲子さんから『土木から防災へ』というテーマで講演をお聴きました。現在、土木技術者として女性が増えてきている中で、その礎を築いてこられたのだということに改めて感じました。また、グループディスカッションでは、女性の土木技術者が置かれている状況の違いや課題などを意見交換することで、自分を見つめ直し、今後どうしていくのかを考えるきっかけとなりました。

夜の懇親会では、渋谷のおしゃれなお店でインスタ映えするお料理をおいしくいただき、難易度の高い土木技術クイズに大いに盛り上がり、大変楽しく過ごさせていただきました。

2 日目の総会は、あいにくの雨模様で肌寒い気候でしたが、会議自体は土木技術者女性の会の未来に対する熱い想いで活気に満ちていました。女性に限らず、時代とともに土木技術者も変化が迫られる中で、ダイバーシティな意見が出せる総会は、とても大切な『場』なのだと感じました。

今回、現場見学会から総会までの 2 日間を通じて、改めて自分がどのような技術者になりたいのか、そのために何をしていくのか、ということを考えるきっかけをもらいました。今後も、いろんな方を意見や情報交換をして成長していきたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願い致します！



はじめての総会 高木美香(中部支部)

2 月に入会し初めての総会参加でした。総会前日の現場見学会、キャリアセミナー、意見交換会とすべての行事に参加させていただきました。中部支部の方々とは面識がありましたが、初参加なので緊張しました。

現場見学会では、最初に工事概要の説明を受けました。私は鉄道の工事に馴染みがなく初めての見学でしたが、工事概要の説明の際に工事の様子を動画にて見せていただけたことにより、現場見学会時の解説がより理解しやすくなりました。JR 渋谷駅という都心の駅の工事を見ることはきっと最初で最後のことだと思いますので、とても貴重な機会でした。

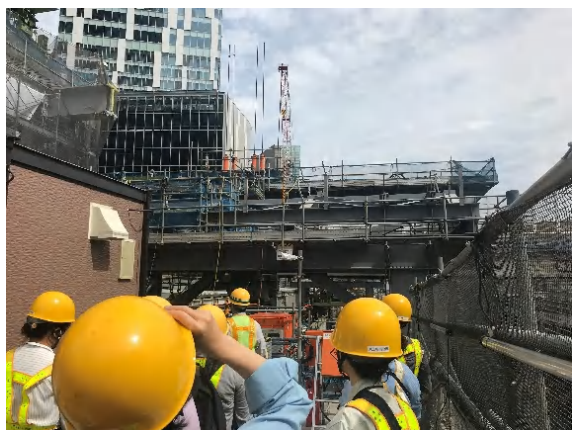
次に開催されたキャリアセミナーでは、天野玲子さんのお話を拝聴しました。大変失礼ながら、天野玲子さんのことはここで初めて知りましたが、ただただ「すごい！」としか感想が出てきませんでした。女性土木技術者のユニコーン的存在である方のお話を聞いたこと、今後の糧にしていきたいと思います。

その後の意見交換会では、くじ引きで席が決まりました。支部の違う方々と同じテーブルになり、交流することができました。また、会場も料理もオシャレで「さすが女性の会だな～」と思いました。余興でクイズ大会も開催されました。さらに、2 次会にも参加させていただき、楽しい時間を過ごすことができました。

2 日目の総会では、昨日までの雰囲気とは打って変わり、真剣な話し合いの場に驚きました。皆さまの会への熱い想いを感じることができました。

私は文系出身で土木の知識も浅く、土木技術者と名乗るにはまだまだです。ですが、この総会にて会の皆さまと交流し、パワフルな皆さまに刺激され、皆さまのような立派な土木技術者になりたいと思いました。今後も会の行事には積極的に参加し、皆さまと交流を持ちながら成長していきたいと思います。よろしくお願い致します。

最後に、総会関連行事および総会の企画や準備、当日の進行をしてくださった皆さま、ありがとうございました。



現場見学会(JR 渋谷駅)の様子



総会会場(JR 東日本コンサルタンツ(株)20 階)
からの景色



初めての活動 山田真衣(中部支部)

入会して半年ほど経っていたものの、土木技術者女性の会の活動に今回初めて参加させていただきました。初めて参加した活動が総会ということで、スーツを着て名刺を持って、出張の時と同じような心持で新幹線に乗っていました。ですが会場で会員の方にお話を聞かせてもらって、やっと緊張がほぐれてきて会場の雰囲気気が分かってきました。会場には、会社から進められて参加した講習会とはまったく違った職場、構造物に関わっている方もいて新鮮な気持ちでした。また、土木技術者女性の会の活動に参加することで土木業界に、自分が思っていたよりもたくさんの分野に多くの先輩方がいらっしゃるのだと実感し、とても心強く感じました。やっと社会人 2 年目に入ったばかりで、会社では大卒の土木女性技術者の一人目だったので、総会の後で教えていただいたユニコーンやシマウマの話がとても印象に残りました。

総会では定款の改定についての決議をメインに、どうやったら土木技術者女性の会が良くなるかについて真剣な議論が始まり、少しピリピリした時もありましたが休憩時間や総会終了後は皆さんが和やかに談笑していて少しほっとしてしまいました。今回は、ほかの活動に参加できないまま総会に参加したこともあって話を聞いているだけでしたが、今後は別の活動にも参加してみたいと感じました。今回都合が合わず前日の見学会には参加ができませんでしたが、次に総会に参加する際には前日の見学会にも参加したいです。

今回の総会に参加してみての一番の感想は、前日の見学会も参加したかった、でした。この文章の中でも何度も出てきているくらいにそう感じました。仕事みたいな恰好で仕事の時みたいな過ごし方をしたのは、とてももったいなかったです。そのため写真もありませんので、とても味気ない感想になってしまいましたが、とても有意義な時間でした。今回の総会でお会いした方々、スタッフの皆さま、ありがとうございました。



はじめての総会 in 東京 久保朱里(西日本支部)

私は新入社員の頃に社内の上司の案内でこの会の存在を知りました。興味はあったのですが、入会のきっかけが自分の中でなかなかなく、入社4年目を迎えました。今年度も案内をいただき、今回の総会関連行事の現場見学会ではJR 渋谷駅の改修工事の見学をさせていただけるとのことのでぜひ参加したいと思い、入会しました。令和のスタートに入会させていただいたことをとてもうれしく思います。

今年度入会ということで、会の活動に参加するのも、会員の方とお会いするのも初めてでとてもドキドキしていました。会場に到着したらたくさんの会員の方がいらっしやって、土木業界で仕事をされている女性の方がたくさんいることを実感しました。皆さん作業着が似合っていてとてもかっこよかったです！

この2日間で普段考える機会がないことを考えるきっかけをいただき、たくさんの楽しい経験をさせていただきました。今後の活動にも参加するのがとても楽しみになったのはじめての総会でした！

◇現場見学会◇

鉄道の工事現場を見学させていただくのは初めてだったので、作業のイメージができるだろうかと思っていたのですが、現場に出る前に工事の概要を説明していただいたことで、イメージを膨らませながら現場を回ることができ、非常に勉強になりました。施工の様子を撮影した動画で、どんどんモノができていく様子を見られたのがとてもおもしろかったです。

また、私は普段計画系の仕事をしているため、現場で作業をされる方々と接する機会がほとんどないのですが、今回の見学会では現場で作業をされる方々の苦勞を改めて知ることができました。

普段立ち入ることのできない場所から工事中の渋谷駅を見学させていただいたことは、本当に貴重な経験になりました。

◇キャリアセミナー◇

まず天野玲子さんの講演から始まったキャリアセミナーですが、天野さんはとても明るくてパワフルで、お話は驚きの連続でした！「自分が経験したどんなことも無駄にはならない」というお話がとても心に残りました。

グループディスカッションでは、様々な経験を経て土木業界で働いている女性がいることを知り、とても驚きました。悩んだり、落ち込んだりするの自分だけではないことを肌で実感でき、とても励みになりました。発表はとても緊張しましたが、皆さんがあたたかい雰囲気聞いてくださり、嬉しかったです。

◇懇親会◇

会社の普段の飲み会では行かないようなとてもおしゃれなお店で、わくわくしながら参加させていただきました♪ おしゃれでおいしいごはんがあれば女子は盛り上がりますね！クイズ大会もテーブルのメンバーで協力して答えを考えるのがとても楽しかったです！（そして勉強になりました^^）

◇総会◇

総会は前日よりもたくさんの方が参加されており、迫力の光景でした。報告を聞くだけではなく、女性の会をより良くするための意見が飛び交っており、本当に活発な総会でとても衝撃を受けました。女性の会は、たくさんの方が情熱をもって運営をし、参加している会であることを実感しました。

懇親会のクイズ大会の賞品として頂いたハチ公せんべい





はじめての総会

比嘉常美代(西日本支部)

入会 2 年目にして念願の総会、現場見学会、キャリアセミナー、懇親会へ初参加させていただきました。現場見学会では、人見知りと無知な自分が恥ずかしくて皆さんとなかなかお話し出来ず不安でいっぱいスタートとなりましたが渋谷駅改良工事のプロジェクトの大きさにただただ圧倒され続け(沖縄に電車が走ってないこともあり)あっという間の見学会となりました。

キャリアセミナー、グループディスカッションでは沖縄で聞けない貴重な講演や東日本支部の皆さんの細やかな心配りでスケジュールどおりに進行されていく感動を受けました。何よりもカルチャーショックを受けたのは、皆さんが目指している資格や取得されている資格が技術士と高く、自分の知識の無さや勉強不足、沖縄という島国の蛙・・・「井の中の蛙大海を知らず」ということわざが頭の中をグルグルと駆け回って自己紹介のLifeとWorkの声が震えていた記憶だけが残っています。そんな緊張感の中、意見交換会へ参加しました。

意見交換会でも・・・何もしゃべることもできず終わってしまうのでは無いかと不安な気持ちで手に汗握りながら終わってしまい(積極的に皆さんとお話しすることもないまま)ホテルに戻り一人になってやっと我に返り「何て残念なことをしてしまったのだろう」と悔やんでも悔やみきれない気持ちになり反省致しました。年齢ばかり重ねるのではなく、話し下手なら克服できるよう努力する。内容が下手なら少しでも下調べして話す内容を増やすなど1日目にして私にとっては、とても勉強になる有意義な時間となりました。グループで一緒になった皆さん本当にありがとうございました。次回参加の際には今回の反省を生かした時間が作れるよう頑張ります。

翌日の総会は、風雨がすごく肌寒い1日でしたが総会が始まったとたんピンと空気が張り詰め、ただならぬ緊張感と白熱した質疑応答の中一瞬にして汗ばんできたのを覚えています。今まで総会は決算報告や活動報告、次年度への予算案等の決議だけと思っていた自分がとても恥ずかしく感じました。それと同時に皆さんが土木技術者として、この女性の会を誇りに思い大切に思い真剣に考えていると分かり私も少しでも皆さんに近づけるよう努力しなければならないと思いました。初の総会、私の人生においてすごく貴重で有意義な時間となりました。東日本支部の皆さん、現場見学会を開催していただいた東日本旅客鉄道(株)渋谷プロジェクトセンターの皆さん、基調講演をしていただいた天野玲子さん、総会でいろいろ担当していただいた皆さん、本当にお疲れ様でした。心から感謝致します。

沖縄という井の中から思い切って飛び出し1歩歩めたことに感謝致します。



さすが東京♪
おしゃれな♡おつまみ
スイーツ??と
思ってしまうくらい可愛い

ちょっと一息～私の好きな風景や場面～

富士山



3 月より静岡県の実地に従事しています。

静岡といったら富士山！ 私が一番好きな富士山は、東名高速道路さった薩埵トンネルを抜けすぐに見られる富士山と駿河湾です。と、いうことで最初の休みは、富士山と駿河湾が一望できるさった薩埵峠に行きました。やっぱり富士山は最高です！

機会があれば登ってみようかと考え中です。（中部支部 A さん）

山頂で眺める星空



山に登る大きな楽しみの一つがこれ。天の川が溢れてこぼれてくるような星々。お天気が良いとは限らず、下界の光が届いてしまう時もあるけど心に残る星空は多くはないが、それだけに目撃した時の感動は大きい。

次はどこの山頂で眺めようか。

（東日本支部 W さん）

祖谷（いや）のかずら橋



主人の四国赴任も今年で4年目。先日は家族で祖谷（いや）のかずら橋に行ってきました。

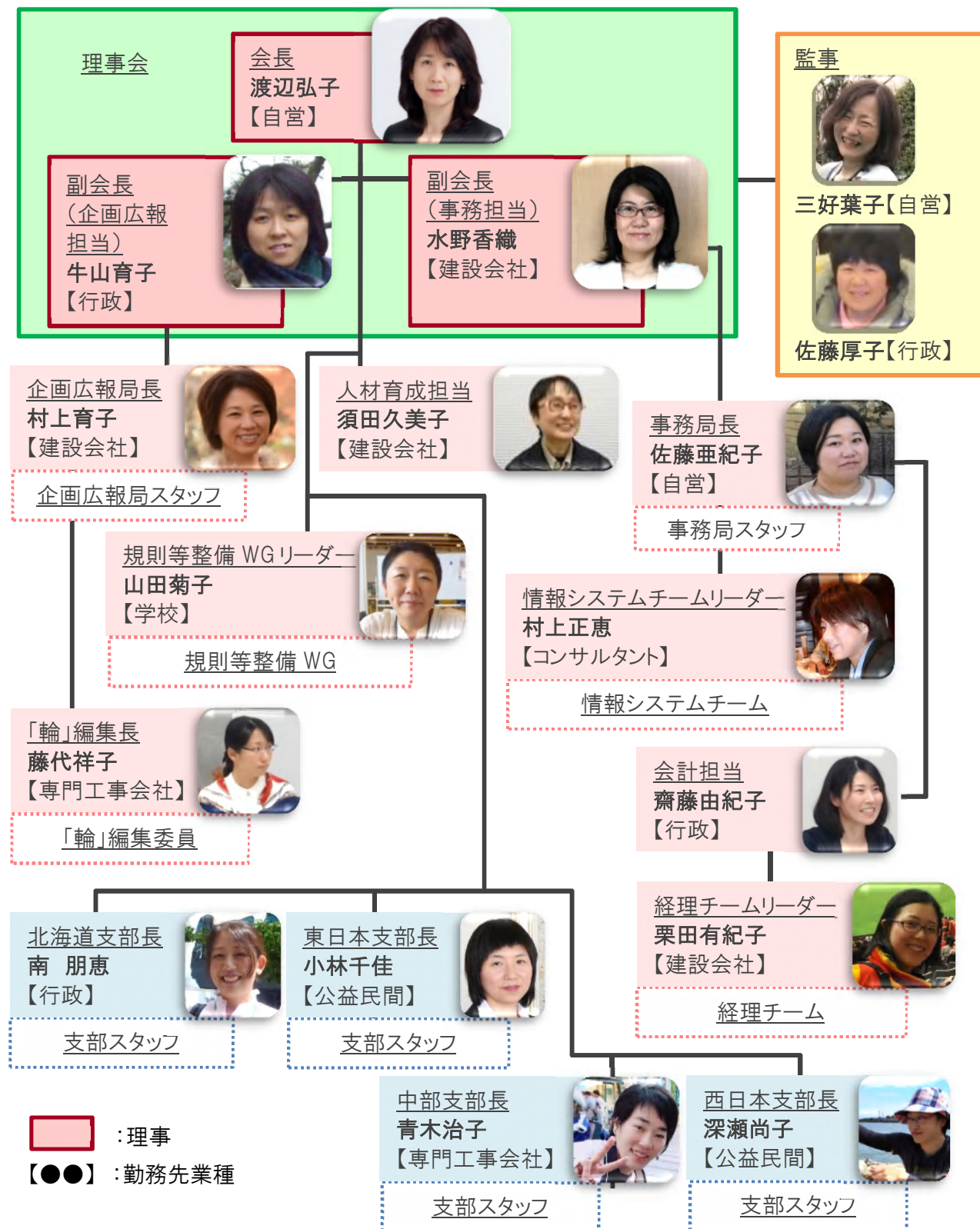
徳島県の奥深い山中にある祖谷は、現在はパワースポットとしても人気です。かずら橋は葛（かずら）という木を使い、古くからある工法でかけられた橋で、年間 35 万人もの観光客が訪れるため、安全面に配慮して三年に一度架け替えられているそうです。それでも橋と橋の隙間は大きく、小学 1 年生の娘がすっぽり落ちてしまうのではないかとヒヤヒヤ。数十メートル下の水面を見ながらの横断は、なかなか迫力がありました。

度胸試しに、ぜひ一度訪れてみてください！

（東日本支部 S さん）

(一社) 土木技術者女性の会 組織図 2019

2019年度の運営委員をご紹介します。当会の運営は、このほかにも各組織・各支部に多くの有志によるスタッフが所属し、支えられています。スタッフは随時募集していますので、興味のある方は所属する支部の支部長までご連絡ください。



お知らせ

●●定款が改定されました●●

定款・一般規則の改定は、会員の意見を汲みながら、担当理事が規則等整備ワーキンググループとともに進めています。今年の総会では、特別決議で定款の改定が承認されました。ここでは、そのポイントをお知らせします。

※詳細はウェブサイトに掲載しています。そちらもあわせてご確認ください

1. 改定の背景と目的

当会の運営の根拠である
2013 年法人化の際に定めた「定款」「一般規則」、
任意団体時代の「規則類」

- ・一般社団法人としての運営にそぐわない箇所がある
- ・規則類全体で整合が取れないものがある
- ・一部の定款の改定を「普通決議」したため、「特別決議」による正しい改定が必要



法人化後 6 年を迎えることを機に、
当会の活動を支える定款および一般規則を、
関連法規に則しかつ整合の取れた体系の根幹とする

【改定の方針】

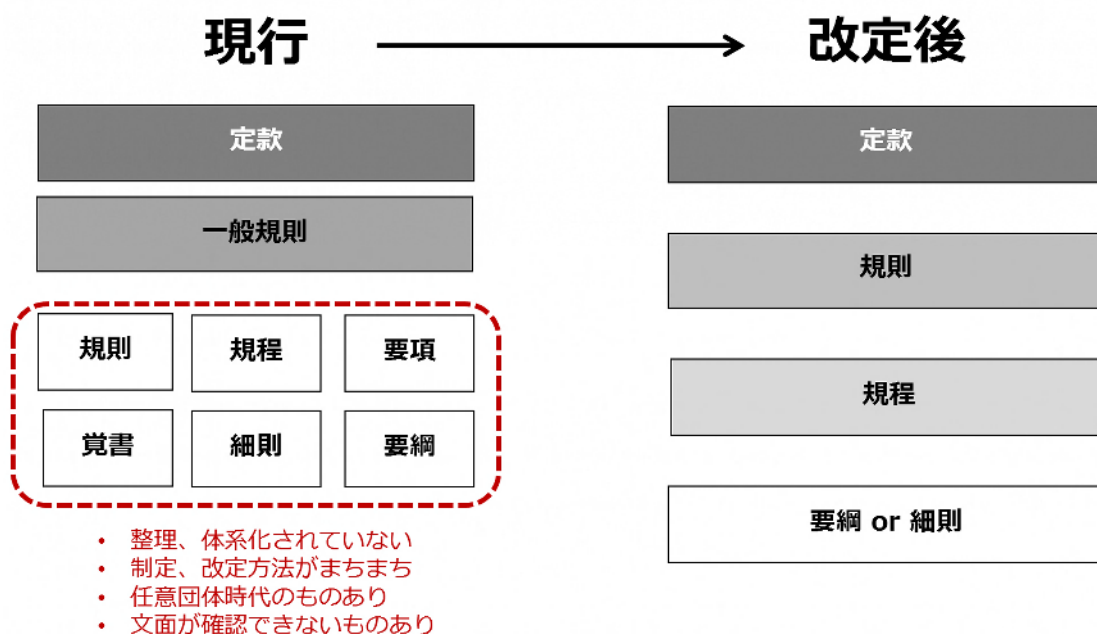
- ・会員、運営委員の皆さんの「ご意見を伺いつつ」進める
- ・担当理事、担当チームを設置して取り組む
- ・「分かりやすい定款」とする
- ・「当会の活動を支える定款」とする
- ・「これまでの総会で決議した変更を反映する」
- ・他の「規則類との整合」のとれた定款とする



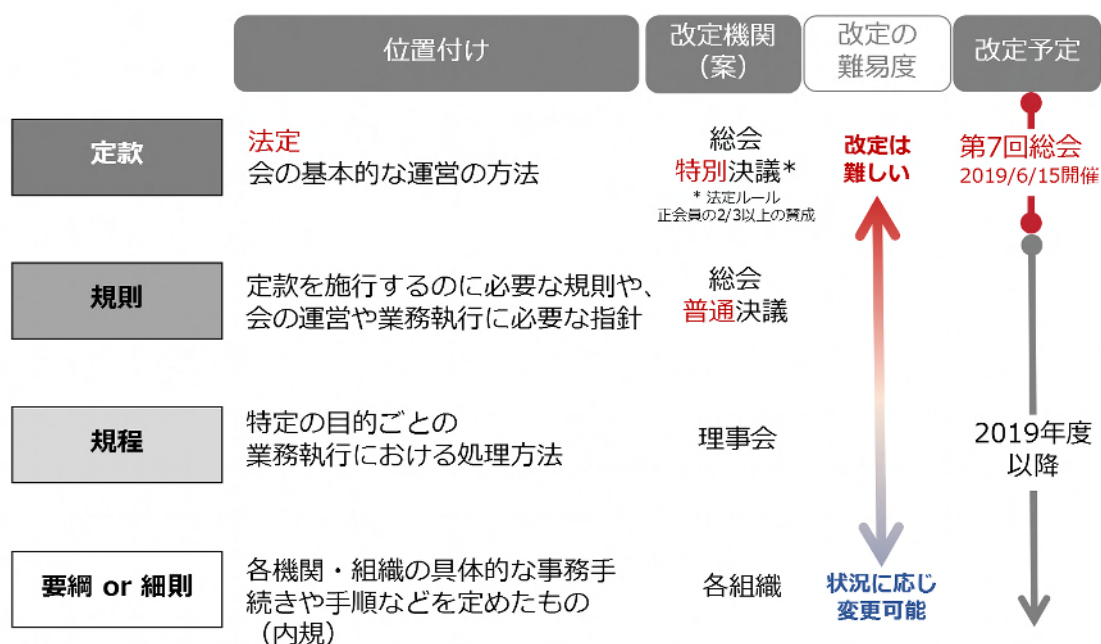
2. 定款の主な変更点

(1) 規則類の構成(定款の条文のうち、過去に普通決議した箇所を特別決議で正しく改定することを含む)

規則類の構成の整理



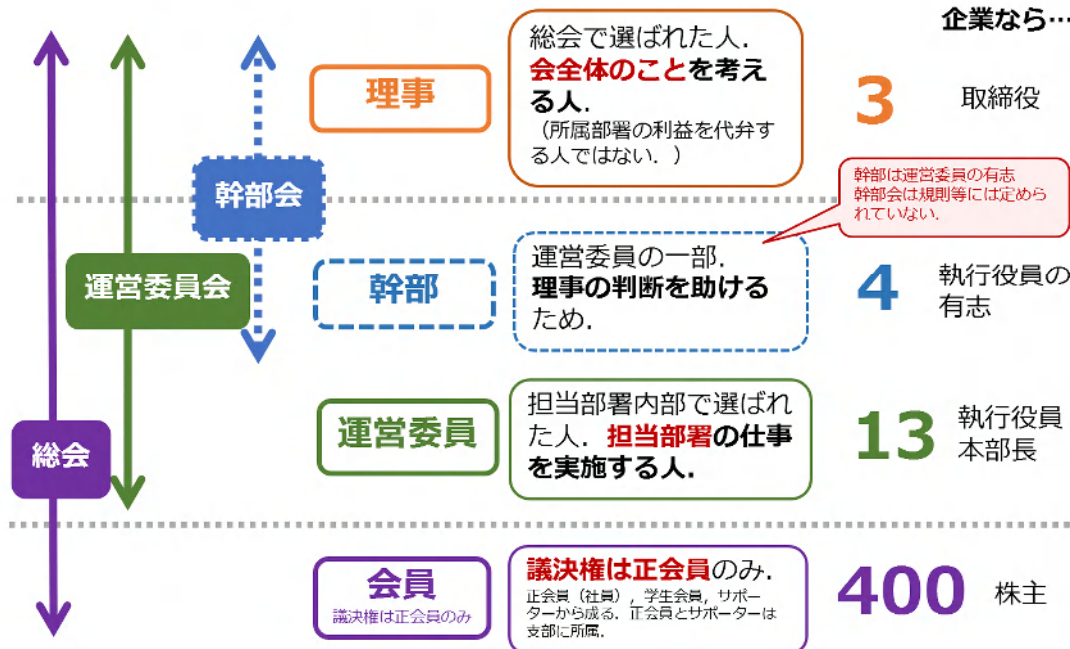
規則類の構成 (案)



※第7回総会では、一部の議案を取り下げ、定款のみを改定しました。

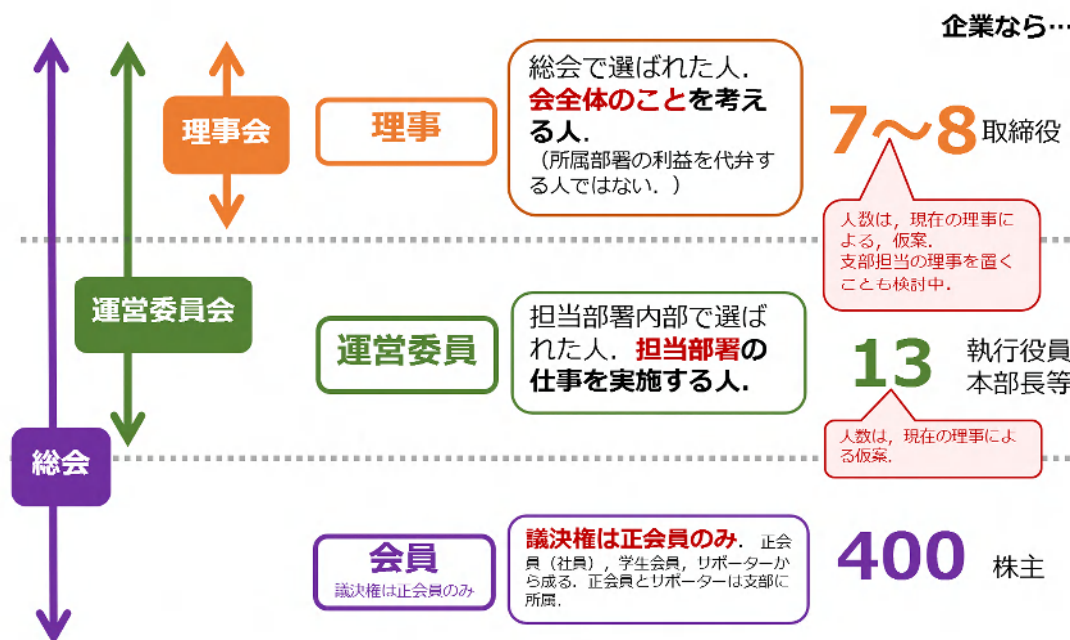
(2) 理事会の設置

現状：役割の確認



16

ご提案：役割の確認



17

3. 総会での議論と決議

総会では、会員より「1. 総会決議を行う項目」について意見が挙がりました。議論、修正の提案、特別決議の結果、各項目の決議実施機関を表1のとおり改定しました。

表1 決議実施機関の変更箇所

現行			決議 (定款のみ決議・改定)		
事項	総会	その他	事項	総会	理事会
事業報告	◎		事業報告	*	◎
事業計画	◎		事業計画	*	
決算	◎		決算	◎	
予算	◎		予算	*	
委員会の設置 (一般規則) ※ 設置の決議については規定されず。	△		委員会の設置	*	◎
支部設立	◎		支部設立	◎	
理事選出委員会の設置	◎		理事選出委員会の設置		◎
代表理事、副会長の決定	◎		代表理事、副会長、業務執行理事の決定	*	◎
一般規則の改廃 ※ 現在は運営委員会でも可能	△	△	一般規則の改廃	◎	
----- 以下、一般規則に規定された事項 (今回、改定せず) -----			----- 以下、一般規則に規定された事項 (今回、改定せず) -----		
運営委員会の設置	◎		常設委員会 (運営委員会) の設置	◎	
運営委員 (会計担当、人事育成担当) の任免	総会承認	会長	運営委員 (会計担当、人事育成担当) の任免	*	◎
WGの設置	◎		WGの設置	*	◎
WGリーダーの任免	◎		WGリーダーの任免	*	◎
事務局長、経理及び情報システムチームリーダーの任免	◎		事務局長、経理及び情報システムチームリーダーの任免	*	◎
企画広報局長、会誌編集長の任免	◎		企画広報局長、会誌編集長の任免	*	◎
理事選任に関するルール改廃	◎	※一部運営	理事選任に関する規則改廃 ¹⁾	基本◎	詳細◎



注：1) 選任および選挙権変更は総会(一般規則)、選挙手続きが理事会(規程)

11

一般社団法人設立時定款	会の定款2019年 (案) 理事提案	会の定款2019年 (案) 特別決議対象
第18条 (権限) (7) 事業計画及び収支予算の承認	第12条 (権限) (該当なし)	第12条 (権限) (7) 事業計画及び収支予算の承認 (以下、番号を順送り)
第28条 (事業計画および収支予算) この法人の事業計画書および収支予算書は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、総会の承認を受けなければならない。	第36条 (事業計画および収支予算) この法人の事業計画書および収支予算書は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、 <u>理事会</u> の承認を受けなければならない。	第36条 (事業計画および収支予算) この法人の事業計画書および収支予算書は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、総会の承認を受けなければならない。 <u>ただし、総会決議がなされるまでは、理事会の承認を受けた事業計画書および収支予算書に基づき執行する。</u>

下線は、設立時定款からの変更箇所。

下線は、設立時定款からの変更箇所。
上記の変更を反映した定款 (案) が可決された。



牛山育子副会長 ホトケの文書講座 ー其の壱ー

本号から、西日本支部の勉強会で大きな反響を呼んだ講座をお届けします。
自身を見直すきっかけにいかがですか。

【問い】

この「ご挨拶」には、3箇所の訂正箇所があります。皆さん分かりますか？

ご挨拶



本日はお忙しい中、お集まりいただき、
ありがとうございます。
開始時間が少し遅れて申し訳ありません。
本日、講師を務めさせていただきます、
〇〇と申します。
今日は1時間という短い時間ですので、
文書講座のほんのさわりだけしかお話でき
ないとは思いますが、お付き合いのほど、
よろしくお願いいたします。

【答】

1. 「申し訳・・・」？

「申し訳ない」は、「申し訳+ない」ではありません。もし、「〇〇+ない」という言葉であれば、「〇〇+ある」という足し算が成立することになります。でも、「申し訳ある」という日本語はありませんね。よって、「申し訳ありません」という言い方は間違い、ということになります。

× 申し訳ありません（申し訳ございません） の正しい言い方は、
○ **申し訳ないです**（**申し訳ないことでございます**）となります。

2. 「・・・させていただく」？

基本的に、「～させていただく」という言い方は、許可を求めて了解を得られることを想定しているの、それ以外に使うと相手に失礼な印象を与える可能性があります。ここでは、許可をもらって講師を務めるわけではないので、

× 務めさせていただきます → ○ **務めます** で十分です。

3. 「さわり」の部分？

「さわり」とは、「話の最初の部分」という意味ではありません。

「話のメインとなる部分」を指す言葉です。よって、正しい言い方は、

× さわり → ○ **導入部** となります。

次回もお楽しみに！

※間違いとしてとりあげていく日本語のうち、いくつかは現代日本語として許容すべき、という意見もある言葉も含まれています。その意味で、間違いとまでは言い切れない言葉もありますが、「本来の正式な日本語としてはどう表記すべきか」に主眼を置いています。その点に注意してお読みください。

特集 2★“見える化”土木技術者女性の会 第5弾:中部支部リコチャレ開催

中部支部 夏のリコチャレ 2019 イベント

「土木女子といっしょに防災について考えよう」
が開催されるまで

土木技術者女性の会では、昨年度より東日本支部と西日本支部において、リコチャレイベントとして現場見学会を開催しています。今回中部支部では、防災をテーマとした座学のイベントを企画・開催しました。座学は初の試みでしたが、参加者からは「紙ぶるる^{※1}を作ったのが楽しかった」「防災について勉強できて良かった」などの感想をいただくなど、盛況のうちに終えることができました。

この特集では、「中部支部 夏のリコチャレ 2019 イベント『土木女子と一緒に防災について考えよう』」について、企画・準備から開催までの流れをご紹介します。

※1 地震に弱い建物の特徴を実験しながら楽しく理解できるペーパークラフト教材。
名古屋大学 福和伸夫研究室による開発。

1. メンバー紹介

土木技術者女性の会:西雪美樹*、青木治子、小畑敏子、川瀬瞳、高木美香、中西利美、
藤代祥子、前川利枝、水野香織、山田真衣 *リーダー
愛知工業大学:鈴木森晶教授、学生スタッフ6名(女性5名、男性1名)

2. 概要

- ◆主 催:(一社)土木技術者女性の会 中部支部
- ◆共 催:愛知工業大学 工学部土木工学科 鈴木研究室
- ◆日 時:2019年8月6日(火)14:00~16:00(受付13:30~)
- ◆場 所:愛知工業大学 本山キャンパス
- ◆参加人数:31名(小学生12名、中学生6名、保護者13名)
- ◆主なプログラム
 1. はじめに
 2. 災害から命を守る ~土木技術者からのおはなし~
 3. つくってみよう! ためしてみよう! 紙ぶるる
 4. クイズでおさらい

3. 企画・準備~開催のながれ

2018年 9月 24日	・中部支部支部会@日本ピーエス中部支店 青木支部長よりお達し。 来年は中部支部もリコチャレイベント開催しよう! 新たな試みで座学をやりたい! →熱中症やケガの心配もなく実施できそうなので、座学開催で進めることに。
2019年 1月	・ミニ打合せ@奥村組名古屋支店 場所、テーマの検討 →愛工大との共催、ペーパークラフト教材「紙ぶるる」使用を素案に。



2 月		・ 現場見学会の一部で打合せ @三ヶ峯幹線作業所(フジタ) 企画案の提示・検討。
3 月	上旬	・チラシのモデル依頼(水野さん・姪)。紙ぶるる作成状況を写真撮影。
		 試作品作成★ 作成にとっても時間がかかることが分かったので、ミシン目のついたペーパークラフトキットを購入することに。
	下旬	・中部支部メールリストでスタッフメンバー募集。 →前川さんが配信後すぐに手を挙げてくれました！
4 月	3 日	・LINE グループ「  team'リコチャレ」を作成。
	10 日	・ キックオフ打合せ @奥村組名古屋支店⇄(Skype)興栄コンサルタント
	16 日	・ 愛工大 鈴木教授との打ち合わせ @愛工大八草キャンパス 共催と会場提供のお願い。 →メイン内容のほか作業着試着や参加証などのアイデアもいただきました。
	21 日	・ 中部支部支部会 @日本ピーエス中部支店⇄(Skype)興栄コンサルタント 当初スタッフは、青木さん・川瀬さん・前川さん・西雪でしたが、更に高木さん・藤代さん・水野さんも加入。当日は、中西さんも助っ人に来てくれることに。
		  子連れのメンバーも。打合せ中はすやすや夢の中。。
	22 日	・リコチャレ用メールアドレスを取得。
5 月	7 日	・日程確定&開催案内チラシ完成。
	上旬	・愛工大 鈴木教授が学内施設使用許可申請。 →無償となるよう交渉していただきました。
	19 日	・当会 HP に開催案内の掲載。 ・内閣府のリコチャレイベント登録手続き。
	23 日	・ 打合せ @奥村組名古屋支店⇄(Skype)興栄コンサルタント、フジタ、日本ピーエス 役割分担(各プログラム毎に班分け)、準備物や進行内容について話し合い。 ※以降、具体的な進行内容については各リーダーに一任して進めてもらいました。
		藤代さん作 開催案内チラシが完成！ 

6 月 14 日 中旬 24 日 28 日	・総会関連行事の前に打合せ@東京都内のカラオケ BOX⇔(Skype)日本ピーエス 進捗確認、配布物やパワポの作成方針、進行内容について協議。 ・総会にて、会の活動に初参加の山田さんをスタッフに勧誘。  facetime での会議ができるように、Wi-Fi 環境の整っているカラオケボックスで打合せを行いました 総会・総会関連行事に参加し、東日本支部スタッフの一人一人が積極的に会の活動に参加されている様子を見て、参加した中部支部スタッフ一同奮起しました！ ・CPD 申請手続き。 ・試着体験用の作業服・ヘルメットを支部内メーリングリストで募集。 →スタッフのほか、浦郷さんからも作業服を貸していただきました。 ・防災に関するネタ・アイデアを支部内メーリングリストで募集。 →防災情報や参考動画・資料などを提供いただきました。
7 月 3 日 7 日 8 日 25 日	・愛工大 鈴木教授との打合せ@愛工大本山キャンパス 現地確認、レイアウトや進行についての打合せ。 & 鈴木教授へ盛りだくさんの依頼 ・中部支部支部会@日本ピーエス中部支店⇔(Skype) 進捗確認、参加申し込み数 UP の為の宣伝策を検討。 (この時点で申し込み者ゼロ……) ・東日本支部・西日本支部に集客方法を相談。 ・宣伝活動強化(協会や団体・勤務先へのメール発信など) →皆の人脈をフル活用した結果、申し込みが届け始めました♪ ・参加者募集締切日、定員 20 名に対し申し込み者 8 名 申込締切を 1 週間延期&参加要件を緩和。 (女子限定→男女不問・小 4~中 3→小 1~中 3) →少人数でもいいのでは? との声もありましたが、最後まで頑張りました。 最終的に参加者 18 名の申込みがありました!! ・河川系防災の有識者・小畑さんをスタッフとして緊急オファー。  会場の状況が分かるように、グループ LINE で写真を共有
8 月	・各班の資料・パワポが続々と完成 →皆さんぎりぎりまでブラッシュアップしてくれました。  藤代さんはワークシートの体裁や色合いなどの統一、修正を引き受けてくれました。子育てしながら大変だったと思います  水野さんはイベント直前の日曜に現場事務所で大量の資料印刷 & ラミネート & 名札を作成してくれました

8月 6日 ・イベント当日



会場周辺で腹ごしらえ



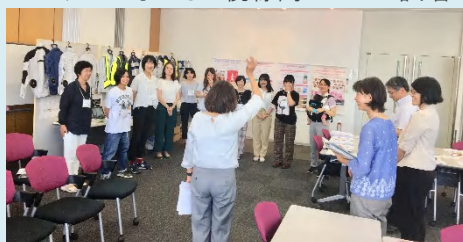
ポスターは子どもの視線高さに



試着・展示ブース設営



配布資料



スタッフ集合・挨拶

村上企画広報局長も
駆けつけてくれました

・イベント開始

※詳細は開催報告をご覧ください(p.46)。



受付



紙ぶるる作成



試着体験

東日本支部・佐藤さん、中部支部・中島さん、水野さん、小畑さんのご家族・ご親戚も参加してくれました。

・片付け、挨拶

・打ち上げ

鈴木森晶教授や女子学生さんと共に無事に終了したことを祝いました。
学生生活や仕事の話、進路選択へのアドバイスなど、たくさん話題でたくさんのおしゃべり。
貴重でとても楽しい時間が過ごせました♪



後日

・関係各所への御礼

・Facebook 掲載、会の HP で開催報告

・アンケートのとりまとめ・報告(アンケート結果は会員限定のウェブサイトに掲載しています)

<https://www.womencivilengineers.com/archives/4831>

今後

- ・次回支部会にて中部支部会員向けにリコチャレイベントの内容を実施するかも??
- ・来年もリコチャレを行う予定です。

Special Thanks ! 中部支部リコチャレスタッフ紹介（順不同、敬称略）**青木治子【発起人】**

遠方現場に配属のため当日不在でしたが、「遠方でもできることは私に任せて！」と積極的に動いてくれました。来年は当日の参加も期待しています！

西雪美樹【リコチャレリーダー】

自分なりに精一杯頑張って企画・段取りをしました。皆さんに通常の仕事やプライベートがある中で、負担をかけないように進めなければという思いと、せっかく企画するならば良いイベントにしたいという思いの葛藤の日々でした。

川瀬 瞳【紙ぶるる班リーダー、鈴木教授との連絡調整担当、申込受付の管理】

川瀬さんの人脈により、愛工大と共催での開催をすることができました。打合せはほぼ毎回出席で、皆の相談相手・調整役として活躍してくれました。

前川利枝【土木のおはなし班リーダー】

学校の先生のように優しく、分かりやすく、参加者の心に響く授業でした。被災の写真やご自身が業務を行った土砂災害対策事業についてのお話にとっても説得力がありました。

藤代祥子【クイズ班リーダー、チラシ作成、成果物の校閲】

子ども向け防災テキストを図書館で借りて勉強し、クイズコーナーでなるほどと思うようなネタを披露してくれました。また、「輪」編集長のノウハウを遺憾なく発揮し、素敵な資料や掲示物を作成してくれました。

水野香織【概要紹介、印刷物、ラミネートの準備】

副会長職の仕事もある中、リコチャレに協力してくれました。クイズのネタ提供から準備品の作成・運搬まで一手に引き受けてくれ、とても助かりました。

高木美香【クイズ班メンバー、スタッフ名札作成】

クイズコーナーでは、子どもたちのペースにあわせて上手に進行してくれました。また、スタッフ名札の作成やスマホでチェキの発案・提供もしてくれた功労者です。

中西利美【スタッフ・参加者全体のフォロー】

リコチャレリーダーからの熱い要望により、スタッフとして参加してもらいました。当日はスタッフが各々自分のことで精一杯のところ、常に全体を見渡しフォローしてくれました。

山田真衣【参加者のフォロー】

鈴木教授の研究室 OB ということもあり、学生スタッフとすぐに意気投合。協力して子どもたちのフォローなど頑張ってくれました。

小畑敏子【土木のおはなし班の強力助っ人】

水害への防災ネタに悩んでいた時、小畑さんから手伝い可能との連絡を受け、急遽資料作成から講師役まで携わってもらいました。一緒に参加してくれたお子さんも、お母さんの話を真剣に聞いていました。

報告：西雪美樹（中部支部副支部長）

イベント報告(中部支部)★リコチャレ 2019 「土木女子(ドボジョ)といっしょに防災について考えよう」

日 時: 2019年8月6日(火) 14:00~16:00

場 所: 愛知工業大学 本山キャンパス

参加人数: 31名(小学生12名、中学生6名、保護者13名)

報告: 西雪美樹(中部支部)

中部支部では、内閣府・文部科学省・(一社)日本経済団体連合会が主催する「夏のリコチャレ 2019 理工系のお仕事体感しよう!」の登録イベントとして、「土木女子(ドボジョ)といっしょに防災について考えよう」を愛知工業大学工学部土木工学科鈴木研究室と共催で開催しました。

1. イベント概要

◆主 催: (一社)土木技術者女性の会 中部支部

◆共 催: 愛知工業大学 工学部土木工学科 鈴木研究室

- ◆主なプログラム
1. はじめに
 2. 災害から命を守る ～土木技術者からのおはなし～
 3. つくってみよう! ためてみよう! 紙ぶるる※1
 4. クイズでおさらい

※1 地震に弱い建物の特徴を実験しながら楽しく理解できるペーパークラフト教材。
名古屋大学福和伸夫研究室による開発。

2. 開催状況

1. はじめに

講師: 水野香織

水野副会長が会の紹介、リコチャレ、土木、イベントのテーマについて説明しました。



スタッフの自己紹介

(右側: 中部支部スタッフ9名、左側: 大学スタッフ7名)



配布したワークシート(抜粋)

2. 災害から命を守る ～土木技術者からのおはなし～

講師: 前川利枝、小畑敏子

災害から命を守るために、まずは様々な自然災害について説明した後、ハザードマップの調べ方やくらしを守る土木構造物などについて詳しく話をしました。子ども達だけでなく、参加した保護者やスタッフにとっても勉強になる内容でした。



実際に起きた被災状況写真を紹介
防災意識が高められたかな？



説明内容をきちんとワークシートに記入する参加者
学生スタッフも優しくフォローしてくれました

3. つくってみよう！ ためしてみよう！ 紙ぶるる

講師：鈴木森晶 教授

ペーパークラフト教材(紙ぶるる)を作成して実験を行いながら、地震に弱い建物の特徴を楽しく理解しました。教えるプロ、鈴木先生の授業は惹きつけられます。



ペーパークラフトが完成したら、さあ実験
どんな揺れ方をするかな？



発展型★10階建ぶるる&集合住宅ぶるる
大学生スタッフがドボジョ(リケジョ)の実力を見せてくれました

4. クイズでおさらい

講師：高木美香、藤代祥子、川瀬瞳

身近な防災から専門的な土木の防災まで、クイズ形式でおさらいしました。



助けを求める時に役立つ道具 分かるかな？



落橋防止、フレキシブル埋設管などマニアックな紹介も

5. おわりに・記念撮影と作業着試着体験

閉会の挨拶の後に記念撮影を行い、作業着試着体験を行いました。作業服、ヘルメット、空調服、フルハーネスなどの試着スペースは大変な賑わいでした。

試着して撮影した写真はその場で印刷し、一人一人に参加証としてお渡ししました。



集合写真 暑い中お集まりいただきありがとうございました



作業着、ヘルメット、空調服、フルハーネスなどを試着



参加証(東京から参加された当会会員のお子さん)

3. おわりに

土木技術者女性の会では、昨年度より東日本支部と西日本支部において、リコチャレイメントとして現場見学会を開催しています。今回当支部では、防災をテーマとした座学のイベントを企画・開催しました。座学は初の試みでしたが、参加者からは「紙ぶるるを作ったのが楽しかった」「防災について勉強できて良かった」などの感想をいただくなど、盛況のうちに終えることができました。

開催にあたり、愛知工業大学の鈴木森晶教授には多大なるご協力をいただきました。また、プライベートの時間を割きながら、素晴らしい資料を作成してくれた中部支部のスタッフ、並びに当日の運営に協力してくださった愛知工業大学の学生スタッフの皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。

※アンケート結果を会員限定のウェブサイトに掲載しています。そちらもご覧ください。

<https://www.womencivilengineers.com/archives/4831>

イベント報告(東日本支部東北地区)★

「NEXCO 東日本 女性技術者による現場見学交流会および意見交換会」

日 時: 2019 年 6 月 7 日(金) 9:40～15:00

場 所: 宮城県栗原市および仙台市青葉区

参加人数: 60 名(うち会員 2 名)

報告: 木村陽子(東日本支部)

1. イベント概要

◆主 催: NEXCO 東日本 東北支社

◆内 容: (1) 現場見学: 東北自動車道迫川橋(下)床版取替工事、東北支社道路管制センター
(2) 意見交換

2. 内容および感想

●東北自動車道 迫川橋(下)床版取替工事 見学

東北自動車道迫川橋(下)は、供用から 39 年経過した綱 3 径間連続鈑桁 2 連(215.9m)の橋梁で、今回は床版の取替工事を見学しました。現場では、工事受注者の川田建設(株)の皆さんに工事内容についてご説明いただきました。

今回の工事は 52 日間という短期間での施工とのこと。床版はプレキャストPC床版で全 96 枚、昼夜連続施工で撤去、設置作業を最大 14 枚/日のサイクルで行っているそうです。工期を短縮するために 200t クレーンを 2 台使用し施工を行っているとのことでした。当日もたくさんの作業員さんが作業されていましたが、現場内は非常に整理整頓されていました。



川田建設(株)による工事概要説明



PC床版架設状況

また、品質を確保するための品質管理や耐久性向上のための工夫がたくさんありました。現場打ち部分の鉄筋は、エポキシ樹脂鉄筋を使用されておりましたが、今回使用しているエポキシ樹脂鉄筋は、さらにコンクリートとの付着性能を向上させた製品を使用しているとのことでした。壁高欄の立上り鉄筋、伸縮装置の補助鉄筋もすべてエポキシ樹脂鉄筋が使用されていました。コンクリートの養生も湿潤養生を 5 日行っているそうです。急速施工ですがとても丁寧な施工をされていました。



PC床版間詰め部



伸縮装置部

●道路管理センター見学

現場見学会の後は、NEXCO 東日本東北支社の道路管制センターを見学させていただきました。ここでは、東北管内の高速道路の状況や異常事象への対応、トンネル等の施設制御を、24時間365日体制で行っているそうです。巨大なモニター上には、東北管内の高速道路の路線図が表示されており、道路パトロールカーの位置や非常電話からの入電、工事規制等の情報が表示されていました。



道路管制センター(交通管制室)

●意見交換会

最後に、今回参加した女性技術者の皆さんで意見交換会を行いました。テーマは設けず、日頃感じていること等を、フリートーク形式で行いました。たくさんの意見が出ましたが、女性土木技術者の働き方に関する話題が多かったです。

- ・現場に女性が一人なので、もう一人女性がいたら良いと思う。
- ・休むためのサポート体制があればいい。
- ・結婚してから、今の仕事を続けられるか不安に思うことがある。ロールモデルが欲しい。
- ・建設業専用の保育所があれば良い。
- ・働き方改革を受けて、早く帰る流れになってきている。
- ・女性の道具はなんでもかんでもピンクじゃなくても良い(笑)



意見交換会の様子

3. まとめ

今回の現場見学会では、施工方法、現場管理など参考になることがたくさんありました。短期間施工で大変お忙しい中、現場見学を開催いただきまして、NEXCO 東日本、川田建設(株)の皆さまには感謝申し上げます。

<編集後記>



藤代祥子（編集長/中部支部）

本号から新たなメンバーをむかえ、新体制でお届けします。大変盛り上がった総会やリコチャレなどイベントの状況はもちろん、運営委員からのメッセージや当会にとって重要な「定款」のポイントも掲載しました。「輪」を読むことで、楽しいところも真面目なところも…、皆さまに少しでも多くの活動や想いを知ってもらえるきっかけになると良いです。“ホトケの文書講座”では良く目にする言葉が実は…。とても驚きました。



西村和恵（北海道支部）

何だか自分に自信を失いかけていた時、校正していた総会初参加の方々のフレッシュな思いに触れて、昔の自分を思い出す良いきっかけになりました。「輪」の読者に寄り添う形がすばらしいと改めて実感しました。微力ながら、編集に関わることができて光栄です。



生野静香（東日本支部）

昨年度から、転職・結婚・妊娠・出産など、少々詰め込んだ日々を過ごしています。これから更に多くの方々の目に触れる「輪」の編集に、本号より微力ながら携わらせていただきます。今後とも宜しくお願い致します。



熊本好美（東日本支部）

今回初めて「輪」の編集に携わらせていただきましたが、不慣れなことが多くご迷惑をお掛けしてしまったなあというのが実際のところ。今回はもう少しきちんとできたらいいと考えております。今回総会ではスタッフとして参加しましたので、寄稿をお願いした方々の文章を緊張しつつ拝見しました。多くの方に参加して良かったと思っていただけで、とても励みになりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



岡本茉莉（中部支部）

「輪」は多くの方の手により編集・校閲等されるため、発行まで時間がかかります。その中で、編集委員の良いところはできたての記事を読めることだと思います。総会終了後すぐに参加者の感想を拝見でき、総会の熱気や充実した時間を振り返ることができました。参加された方にも、参加できなかった方にも、総会の雰囲気や伝わる輪にしていきたいと思えます。



長谷部直子（西日本支部）

私は総会に出席できなかったのですが、総会での様子や参加者の感想を読むと、とても有意義で盛り上がった総会だったことが、とても伝わりました！ 私のように参加できなかった会員にとって、総会の様子を「輪」で知ることができるのは、とても大切なことだと実感しました。ありがとうございました。次回こそは参加するぞ！

「輪」への投稿・ご意見は「輪」編集委員へ、
その他のお問い合わせ、ご意見は事務局まで、お願いします。

「輪」編集委員：rin@womencivilengineers.com

事務局：infoswce@womencivilengineers.com

【「輪」編集委員】

藤代祥子（編集長/中部）

西村和恵（北海道）

生野静香（東日本）

熊本好美（東日本）

岡本茉莉（中部）

長谷部直子（西日本）

【事務局】

佐藤亜紀子（事務局長）

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷三丁目1番9号矢沢ビル4階

TEL 050-3738-4975

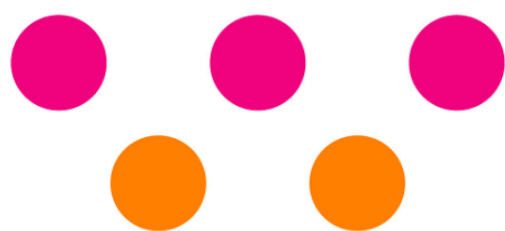
<https://www.womencivilengineers.com>

「輪」2019年度 秋号(第66号)

2019年 10月 31日発行

一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers



The Society of
Women Civil Engineers

一般社団法人 土木技術者女性の会
「輪」 2019 年度 秋号(第 66 号)